第3回セッション 「3分間」

カップメン vs うるとらまん!?

今週のお題

開催中：　！

投稿受付中：　投稿受付期間外

Column Land

■ラストセッション「！」オープン。運命のラストバトル、さいごに笑う者は誰？コメント・投票は10月6日（月）朝6時までです。
■宇宙船クルー応募、12人目は、ついにレディ。わあい♪

テーマ：３分間

投票総数：171件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者ｺﾒﾝﾄ	コメント数	最新投稿時間
1位	58	23	３年間のマホウ	SOta	有	25	9/18 9:48
2位	20	11	ブラックジャックも食べている	evolv	有	26	9/11 3:41
3位	15	8	６時６６分	ニャルラトホテップ	有	25	9/11 3:57
4位	14	8	３分間で話	floccinaucinihilipilification	有	23	9/11 5:40
5位	13	9	弟よ	やまのかめさん	有	16	9/11 0:40
	12	9	贋作・第一夜	白磁	有	14	9/14 19:35
	12	6	「二色」	葉月	有	15	9/11 4:58
	12	6	やり直し、くり返し	to　洋灯	有	12	9/12 2:19
	12	8	そんなひととき	aya	有	15	9/10 23:16
	9	7	変☆身！	石花	有	15	9/11 4:2
	9	6	美結さんのいる風景	神代千早	有	18	9/7 22:25
	9	4	その３分間、青春の証	ザ サン・オブ・オージー	有	13	9/11 1:20
	7	7	かたいよぅ。。。ぼそぼそするよぅ。。。うわぁぁん(TдT)	ノア	有	15	9/11 5:18
	7	5	ゆめをみるひと	bfs（ぱんつ）	有	10	9/10 22:45
	7	4	その三分間で彼女の中の『私』は死んだ	弟子	無	13	9/11 4:30
	7	4	OverDrive！！	ひま人	有	22	9/11 5:10

7	7	3分間のお値段	浅間ぱんだ	有	17	9/11 5:14
6	5	クッキングは制限時間内に	Albino（ウツボット）	有	12	9/10 21:47
5	3	インタビュー	halcyon	有	15	9/11 19:43
5	5	素直の薬	八剣	有	15	9/10 21:35
4	3	下克上	城山	有	10	9/8 7:34
4	2	歪んだ三年間の表出たる三分間が提示する或いは幸福な結末	バケネコ	有	11	9/9 3:44
4	2	通話時間	うさぎとかめ	無	15	9/10 23:0
3	2	ラボの中では	パンリコ	有	8	9/7 23:44
3	1	threw away	森　武	有	11	9/11 2:42
3	2	神の慈悲深さに関するある男の私見	めんとすこーら	有	18	9/11 3:44
3	3	3分間の密度	laket	有	12	9/12 2:28
2	1	弟とセミ	BRAZIL	無	10	9/11 3:31
2	2	レイニーアフターヌーン	EtOH	有	12	9/6 23:19
1	1	３分あったら何をする？	子育てママ	無	10	9/11 3:25
1	1	17:58-18:01	カゲヤマ	有	13	9/11 1:26
1	1	やはりそうだったのですね	柚子(ゆうこ)	有	10	9/10 23:50
1	1	３分間で出来ること	BELIAL	有	15	9/10 20:57
1	1	３８５４４００回目の３分間	imt14	無	17	9/11 3:59
1	1	選択肢	白雨	無	12	9/10 17:1
1	1	ウルトラマンと僕	ふんざ	無	11	9/9 17:36
1	1	家を飛び出した	qofhk	有	13	9/11 5:35
0	0	Life is short, and art is long.	s.o.u.p.	有	13	9/11 5:44
0	0	何が観られるか？	太祖武帝	有	12	9/10 22:40
0	0	カップラーメンから遠く離れて	それから	無	13	9/8 9:42
0	0	スリーミニッツ・ラプソディ	Suzuna	有	10	9/9 3:4

３年間のマホウ

総合順位：1位
合計ポイント：58 Point
作者：SOta
作者コメントを読む

　17歳の誕生日。
恋人の美里や友人達による、ささやかながらこっ恥ずかしい誕生日パーティから帰宅した俺は、見覚えのない小包の前にいた。なんだこれは？
差出人は不明。間違って注文した訳でもなさそうだ。

　丁寧に開いてみると、小さな砂時計が姿を現した。
ちょうど手のひらにはいるほどの大きさで、木製の枠組みに精巧な彫刻が施されている。
その隣には、数行の文が印刷された小さなメモが一枚。

　　これは魔法の砂時計です

　　逆さにすると3分間だけ時間が戻ります

　　ただし効果があるのは一度きり

　　期限は３年後の今日まで

　誰かのいたずらかと思ったが、捨ててしまう気にもならず、
とりあえず部屋に飾っておくことにした。
本物かどうか試そうとも考えた。
けれど本物だったらそれで使ってしまうのはもったいない。
もし、これが本物なら、俺は何のために使うだろうか。

「あれ、悠くん、そのさくらんぼいらないの？」
　美里のその声で我に返る。同時に学食の賑やかな空気が頭の中へ流れ込んでくる。
あれ以来、時々砂時計のことを思い出しては考え込んでしまうようになった。
「いや、悪い。少しぼーっとしてた。さくらんぼはあげないぞ」
「やっぱり。悠くん好きなものはギリギリまでとっておく性格だもんねー。で、何考えてたの？もしかして他の女の子のこととか？」
　意地悪そうに言ってくる。違う、と言ったらもっとからかわれるんだろうな……。

　時間を戻したい、と感じることは今までに何度もあったはずだ。

それでも実際に戻せるとなると、それも一度きりとなると、
なかなか使う機会はなかった。いや、使う勇気がなかったんだ。
きっと最後の日になって、一人ひっそりと逆さにしてみる事になるんだろう。

　3年が経った。
どうして女というものは記念日がこんなに好きなんだろうか。
しばらく忙しくてなかなか時間がとれなかったが、今日は誕生日ということで、
久々に町でデートをすることになっている。
待ち合わせは地元の公園前、午前10時。早めに行っておこうか。美里は時間にちょっとだけうるさい。

　……。

　待ち合わせの場所、待ち合わせの時間。
雲一つなく晴れ渡った空。
美里はまだ来ていない。

　５分が過ぎる頃、美里がやってきた。
俺を見つけると、いっそうあわてて走ってくる。あー、運動神経悪いのにそんなに慌てたら……。
そのとき、大きなものが視界に飛び込んできた。
気がつくと美里が地面に横たわっていた。
近くには１台の自動車。

「美里！！」
急いで駆け寄るが、美里の意識はない。
大丈夫ですか！？という運転手の声が遠く感じる。
救急車を呼ぼうと携帯を取り出す。
画面上に表示される時間。

　10：07

その表示にはっとする。
鞄に入れてきたものを思い出し、大急ぎで取り出す。

それは、手のひらに収まるくらいの綺麗な砂時計。

両目を閉じて深呼吸をする。

地面に落とさないように、慎重に。

その砂時計を逆さまに、ひっくり返した。

ゆっくりと目を開いた。

目の前に美里が横たわっていた。

携帯の表示は、10時8分を告げていた。

何が起こった？

いや

何も起こらなかったんだ――

何をすればいいのか頭が働かず、ただ呆然としていた。
俺の様子を察した自動車の運転手が救急車を呼んでいるようだった。

静かな病室。美里の意識は回復していない。
こんな時になにもしてあげられない。そんな自分に嫌気が差してくる。
握りしめた手に痛みを感じて指を開くと、あの砂時計があった。

砂の粒は、初めての３分間を刻み終えて、底面にたまっていた。
３年間埃をかぶることのなかった面、
初めて目にする砂時計の裏面がそこにあった。

あふれる涙は、しばらく止められそうになかった。

あなたが側にいる
それだけで私は幸せです。

20歳の誕生日、おめでとう。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
laket 9/3 9:16	オチかっこいい！ 伏線も綺麗に回収されてますし。 このプレゼントを贈った彼女の心境を考えると感心します。
bfs 9/3 9:42	3回読んでやっと意味が分かった。 よく性格読んでんなあ。いいはなしだー。
バケネコ 9/3 16:46	うあああっ、すごい、すごい伏線回収だ！ 計算しつくされた構成ですね、素晴らしい！
aya 9/3 21:26	オチが素晴らしい！ かっこよすぎて泣きそうです。
八剣 9/4 0:11	うう、いかん。 途中で別れて、結局誰からの贈り物なのかも心当たりがなくて・・・とかいう結末を期待してしまう。
浅間ぱんだ 9/4 0:13	無駄なくすっきりとした文章でしっかり伏線回収、感服いたしました。
EtOH 9/4 11:45	ラスト素晴らしいですねっ！いやー、このオチ好きです。途中、3分間戻らなかったときは「え！？なんで？」とか思ってましたけど・・・。
石花 9/4 13:38	うぅ…素晴らしいけど悲しいです
カッシーニの空隙 9/4 16:0	うまい　うますぎる 完全に振り回されました。おみごと！
城山 9/4 16:48	最後に鳥肌が立ちました。 美しいですね。 彼女さんはこんな風に３年後を迎えるとまでは予想していなかったでしょうに。 ところで、３分間だけ戻ると言う設定は３年間ひっくり返させないためのものだと見て良いんですかね？
halcyon 9/4 23:41	上手い！彼女はいい嫁になれたはずだ！ いや、なれると信じたい。 ただ、改行が多くて若干落ち着かない感じがしました。自分だけですかね？
めんとすこーら 9/5 9:23	うーん、きれいにまとまっている、んですかね？ストーリー構成とオチのネタはいいと思うんですけど。 気になるのは何故彼女は砂時計が3年間一度もひっくり返されることがないと思っていたかということなんですが、そこが説明されないと少し最後のメッセージが納得できないかなという気がします。
カゲヤマ 9/5 18:5	いろいろな意味で卓越した予知能力をもつ美里に完敗っ！ 私だったら美里が目を覚ましたその瞬間に…をしたいと思います。
柚子(ゆうこ) 9/6 9:44	ストーリーとしては納得なのですが、どうして3年間も主人公が時計のひっくり返さなかったのかが気になります。もう少し理由があれば・・・でも、美里さんと主人公の関係が表されていて面白いとも感じています。
me 9/6 22:7	すごい！泣きそうになりました！ 「きっと最後の日になって、一人ひっそりと逆さにしてみる事になる」ような彼の性格を把握してる、本当に彼のことをわかっている彼女だからこその行動ですよね。 二人には幸せになってほしいです。
ノア 9/7 6:40	その涙は喜びか悲しみか、あるいは
s.o.u.p. 9/7 19:19	感服しました。 いや、本当にそれしか言えません。

kate 9/8 16:6	話がとてもまとまっていて感動しました。
神代千早 9/10 19:40	ストーリーは大変すてきです。 改行の多さについては、私もhalcyonさんと同様にあんまり心地よくないのですが、ネットの文章はそういうものだと思うようにしています。特に作品の価値に傷を付けるものではありません。
qofhk 9/10 20:0	実はこの砂時計、効果はあったけどすでに鞄の中で一度ひっくり返っていた。 っていうオチでいいんですよね？
floccinaucinihilipilification 9/10 23:16	驚きで言葉を失いました。見事なオチです。 ここまで自然な伏線を用意できるものですね。 ただ、ひっくり返してはいけない砂時計を鞄に入れていたのは少し無理を感じました。 美里に見せようと思った、など理由があっても良かったと思います。
kk21 9/11 0:25	伏線回収も最後の結び方もすごく好きです。泣ける…
カエデ 9/11 2:17	悠くん好きなものはギリギリまでとっておく性格だもんねー。 というセリフがすばらしいです。 美里さんの悠くんへの思いが伝わってきます。
EtOH 9/13 10:0	読み返してみて、やっぱりすごいなぁと。 作者コメントで「なぜこの日砂時計を持ってきていたのか」についての謎も解けたし。
未草 9/18 9:48	うう…。この作品を期間内に読めず、投票もコメントもできなかったなんて（泣 文化祭、許さん！！！ 恋愛につき物のべたべたした感じがなくてすごくいいです。 なんかほんとに好きで分かってんだなあーって感じでした。

ＴＯＰへ

ブラックジャックも食べている

総合順位：2位
合計ポイント：20 Point
作者：evolv
作者コメントを読む

「クーパー。」
助手が男に道具を渡し、男は震える手で慎重に患部に触れていく。
「癒着のひどい部分は丁寧に素手で剥がすんだ。」
男の師と見られる自信に満ちた男が隣で指示を出している。
「はい、先生。」
「よし、少し雑だかいいだろう、次はやさしく注ぎ込むんだ。」
「熱水。」
先ほどの助手が無言でまた道具を渡す。
「慎重にかつやさしく、患者のダメージを最小限に抑えるためにすばやく注ぎ込むんだ。ここでの秒単位の速さとミリ単位のコントロールが一番重要だぞ。」
極度の緊張と、ホクホクとした湯気によって彼の額から汗が流れ落ちてくる。
「汗。」
先ほどまで、機械のように感情を表に出さない助手にまで緊張が伝わったのか、汗を拭く手が震えている。そのわずかな振動が男の手を狂わせた。
「くそ、患部以外のところまで熱水が。」
「大丈夫だ。それぐらいならまだカバーできる。ここからは私がやる。代わりなさい。」
先生と呼ばれていた男が、鮮やかな手つきで患部を閉じて、箸を乗せた。
「すごい。これがゴッドハンドと呼ばれた先生の腕なのか。シンプルにして一番難しいといわれるふたの作業を、あの一瞬でまったく隙間なく閉じている。」
「この箸のおく位置は、患者によって違うだけじゃなく、最初の癒着のはがし方でも少しずつ違いが出る。臨機応変の判断が必要だ。覚えておきなさい。」
「先生、ストップウォッチを用意しました。」
落ち着きを取りもどした助手が、ストップウォッチを渡そうとする。既にボタンは押されてある。
「必要ない。」
先生と呼ばれる男は目を閉じて、静かに腕を下ろした。

「ここだ。」
滑らかな動きによって、箸は割られ、ふたは完全に取り払われた。

「すごい、時間にして２分５２秒。ほとんど正確だ。でも、やはりストップウォッチを使ったほうが正確なのでは。」
男の質問に対して、先生はふっ、と軽く笑みをこぼした。
「馬鹿ね。先生は目を閉じて時間を数えていたのではなく、麺とお湯の会話を聞いていたのよ。」
「３分というのは確かに正解だ。しかし、完璧ではない。患者による微妙な違い、熱湯の温度だけではなく、その日の気温、湿度、気圧までもが影響する。機械に頼っては身につかないわずかな技術だ。でも、私はそんな微妙な違いまでを、お前にはわかってほしいんだよ。」
その言葉からは、男に対する期待を感じさせる暖かさがあった。
「せっ、先生。」
「明日は、どん兵衛に挑戦だ。あれはカヤクの入れる位置と平均５分なところがポイントだ。よく予習しておきなさい。」
「いつか先生のようにスパ王すら完璧に作れる男になります。」
「あれは、私でも難しいぞ。その頃を楽しみにしているよ。」
先生と男はこれからの未来を抱きながら手術室から出て行った。後には少し伸びた麺を啜る助手がいた。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
laket 9/3 8:41	＞「馬鹿ね。先生は目を閉じて時間を数えていたのではなく、麺とお湯の会話を聞いていたのよ。」 すごいセリフが馬鹿すぎる。 誰しもが思いつくカップラーメンネタですが、こんな形にするとは。クレイジーな空気がいいですね。
bfs 9/3 10:33	なんというか、3分というテーマで全部読めてしまうのが惜しいというか、でもそれはそれでいいのかなあ、とか。 頭悪くて好きです。 # スパ王って作るの難しいのか。 # ペヤングだばぁ。
バケネコ 9/3 16:32	最高だ。個人的にはもう伝説クラスです。もなにひとつつっこめませんよ、完璧すぎて。
evolv 9/3 22:47	ここまで本気でカップ麺作ったらきっと味も変わるはず！ 二人は食べることに興味なんてないんですね。これぞプロ！？
柚子(ゆうこ) 9/4 0:24	コマーシャルの世界ですね。見てみたい
浅間ぱんだ 9/4 0:32	前半、医療現場っぽさがしっかりしていて良い作品に仕上がってます。 こんなに真剣にカップ麺つくってみたいもんです。
SOta 9/4 0:52	最後までぬかりない坦々とした文章がよかったです。
石花 9/4 13:29	助手の冷静さがいい感じです。
ノア 9/4 19:11	素晴らしい!! カップ麺に対する熱い魂とか、出来たら出来たで完成品には興味を示さないあたり、大好き。
それから 9/4 23:15	バケネコさんへ 私は全然楽しめませんでした。何が「伝説クラス」なのか教えていただけますか？
柚子(ゆうこ) 9/5 15:47	今の大学生にとって「３分」と言う時間がカップラーメンの時間と言う事が、この漂流に参加して心より理解できました。

カゲヤマ 9/5 20:39	カップめんの制作会社の方！もしこれを見ていたら勝手にCMにしちゃいけませんよ！ >滑らかな動きによって、箸は割られ、ふたは完全に取り払われた。 …のあたりで「〇清、ス〇王」とか文句を入れたら十分に後世紹介されますよ。 今度はぜひ「焼きそば弁当」を作ってください！
やまのかめさん 9/6 8:12	完璧っていう程ではないと思いますね。「癒着」あたりの使い方はうまいなと思いましたし、緊張の手術室の熱気が「ホクホク」とのんきな擬音だったのは面白かったけど、カップ麺を「患者」と呼んだり「患部」という言葉を使ったりしているのは一応読者のミスリーディングを誘おうとしているのかなぁ。この文章の場合、始めからバレバレでもいいから思い切りはっちゃけてケレン味ある文章にした方が面白くないかなぁ。
me 9/6 21:19	途中まで完全に手術シーンをイメージしてたので、「麺」って単語がでてきたときにすごい脱力しました。でも馬鹿げたことを大真面目にやってる感じ、面白いです。 気になるのは「馬鹿ね。」の台詞の人が誰かです。
s.o.u.p. 9/7 11:38	アッチョンブリケ
halcyon 9/7 13:53	前半を大真面目に書いているからこそギャップが面白いのであって、最初から後半のような書き方をしていたら面白くないように思います。 「その日の気温、湿度、気圧」… 気圧って分かるものなんですか！？（笑）
EtOH 9/7 14:43	個人的にはこの作品好きですよ。ここまで真剣にカップ麺を作ったことないです。 やっぱ味違うのかなぁ、少し興味ありますね。
no price 9/7 23:41	タイトルの良さに惹かれました。 内容を読んでから、もう一度タイトルを読むと”深い！”って思います。
西晴男 9/9 0:12	私もタイトルと、3分間というお題から予想はできてしまった人です でもこの作品だとそんなの関係なくおもしろかったです。 手術の切開とカップ麺の蓋を空けるのを照らし合わせたのが秀逸だと思います
やまのかめさん 9/10 7:34	halcyonさんのコメントを受けまして、もうちょっとコメント追加してみます。 方向性としては前半後半でのギャップで落とすというのももちろんありだと思います。ただこの文章の場合、前半を手術として大真面目に描写しているかと言えば、意外に早い段階から熱気がホクホクしてたり大仰な台詞回しを展開していたり、あまり真面目な印象がなかったんですよ。前半後半でのギャップを重視するならもっと前半の描写を徹底できたと思います。一方で面白おかしい文章を追求しているかというと、情報をごまかされているために一気に笑いを取るような文章にもなっていません。もしかしたら作者さんは、読者が少しずつニヤニヤしていくような胡散臭い文章を目指したのかもしれませんが、そういう路線としては今度は、途中から完全に開き直っての文章になっているためにこれまた今一つな印象があったりしまして。これら笑いの方向性を共存させていると言えばそれはそれですごいことかもしれませんが、個人的には方向性は徹底した方がいいと思うんです。
バケネコ 9/10 9:57	やはり色々な人のコメントを読むと勉強になりますね。 僕としては全くミスリードの要素を感じなかったので、馬鹿みたいな内容をきっちりと書ききった極めて完成度の高いネタ、としてこの作品を評価していたのですが、やはりそう感じない人も結構いるようで。純粋に驚きです。 ＞それからさん 前述しましたが、ネタでありながらブレのない文章や、「面白いでしょ？」とか「ここで笑って」という押しつけがましさのない笑わせ方が、僕には「伝説クラス」だと思えました。つまり、ただ面白いだけでなく、他人に読まれることをしっかり意識してある作品であると、そんなふうに僕は感じたのです。
qofhk 9/10 20:7	で、いつCM化されるんですか？
神代千早 9/10 20:14	こういう文章は、もう一度読んだときに馬鹿馬鹿しさを味わえる作品であることが重要なのだと思います。 いや、本当に馬鹿馬鹿しい（ほめてる）。 伝説とまでは思いませんが、何でしょうね。ストーリー的にはわかりきっているけれど馬鹿馬鹿しいコントを見て笑えるようなものでしょうか。

Albino 9/10 21:26	うまい！言わずもがなの大爆笑。 こういう馬鹿なら寧ろその辺にいてください。 割と限られたネタだけど、こんな形にするとは。脱帽。
kk21 9/11 0:5	テーマとタイトルで完全にネタばれしているので、前半の手術シーンに見せようとしている（？）ところをどういうテンションで読めばいいのかよくわからなかったです。前半と後半を大きく分けたならもう少し雰囲気が変わったほうがいいかもしれない。 ブラックジャック、食べてないじゃん。
floccinaucinihilipilification 9/11 3:41	タイトルで内容が読めるのは狙いどおり。 手術中の描写はカップラーメンであることを隠すでも、手術のように見せるでもなく、実際にこういう人物たちが存在したらどうなるかをリアルに描写した。 自分はそう捉えました。 先生の硬い発言が良かったのですが、「平均５分なところ」の「な」が引っ掛かりました。細かすぎですが。

ＴＯＰへ

６時６６分

総合順位：3位
合計ポイント：15 Point
作者：ニャルラトホテップ
作者コメントを読む

徹夜明け……ふと時計を見たときに、その時刻がゾロ目だったと言う体験はありますか？

でも……

気をつけなくてはいけません

もし

その時刻が本来はあり得ない。６時６６分と言う時刻だったのならば……

その時刻を見てしまった人は、ここではない、どこか別の次元に迷い込んでしまいます。

そして、そこから帰ってくるには、その次元でもう一度６時６６分の時計を見なくちゃいけない……

これは、そんな都市伝説……

学校でその話を聞いたとき、私はまったく信じていなかった。
第一、私の部屋の時計はアナログだからどう考えても６時６６分なんて見れるわけがない。

プルルルル……プルルルル……

眠っていた私を叩き起こしたのは目覚まし代わりに枕元においていた携帯電話だった。
寝ぼけ眼で携帯の表示画面を見ると、数日前から連絡が付かなくなっていた、友達のユッコだった。

「はい、もしもし～？こんな遅くにどうしたのユッコ……」

『……もしもし？アツコ？良かった……通じた……』

「ぅん、何言ってるの？今、地下？」

『そうじゃない……私……見ちゃったの……』

「見た？」

『……６時６６分の時計……』

「……え？」

『ここ……ダメ……時計なんて……ない……』

「……」

――――――そこから帰ってくるには、その次元でもう一度６時６６分の時計を見なくちゃいけない……

私の頭の中に、学校で聞いた話がフラッシュバックする

『……最初は携帯の時計を見ていたんだけど……ダメ……ここ……時間がメチャクチャなの！！』

「ユッコ？」

『５時だと思ったのに目を離したら３時になってるの……ここ……時間が普通に流れないの！！もういや！！』

「ユッコ、落ち着いて」

『ダメダメダメ……！もう……私……！！』

「ユッコ……？」

『……』

「ユッコ？ユッコ？！」

『……最後の望みにみんなに電話をかけたの……誰か助けてくれるかと思って……でも……通じたのはアツコだけ……』

「……」

『あぁダメ……電池がもう……助けて……助け――――――』

プー……プー……プー……

「……」
ユッコからの電話が切れた後も、私はしばらく放心していた。
助けを求めるユッコの悲痛な叫びが耳から離れない……

そして、ふと私の心に浮かぶ一つの恐怖心。

もし……

もし、今携帯を下ろして時計を見て……

それが６時６６分だったら――――――？

怖い……

そう思った瞬間、私の中から携帯が落ちた。

硬い音を立てて床に落ちる携帯。

そして私の眼に

時計の表示が飛び込んでくる……

……あぁ、良かった、６時６６分じゃない……

ギリギリ３分前だ……

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
laket 9/3 9:45	ホラーと思ったらまさかのコメディ。主人公にだけ電話が通じるのがまさか伏線だったとは。笑わせてもらいました。
バケネコ 9/3 16:35	え、コメディ？ ああ、すみません、落ちがわからないです。悔しいですが、誰か解説ください。
halcyon 9/3 18:15	「こんな遅くに」って、結局何時だったのかが気になります。 ６時台だったら普通は「遅く」とは言わないですよね？
laket 9/3 18:35	いや、すいません、後から見返すとコメディじゃなかったかもしれません。 ラストは、「いやいや、あんたも異世界行ってるよ」と読者に突っ込ませて笑わせるところだと思ったのですが、冷静になってみると背筋を凍らせるところだったのかも。
aya 9/3 20:51	アツコさんも何かヤバい状態ですよね？最後に見ている時計は6時63分？ あと、パニックしているのに、電話の最中に電池の残量って確認できるものでしょうか？
浅間ぱんだ 9/4 1:2	「3分」の使い方がうまいと思います。 あとはユッコの台詞にリアリティがあって良かったです。
SOta 9/4 11:49	実際には遅い時間帯だったはずが、6時63分になっていたのならば、もう
SOta 9/4 11:53	もう異世界行ってるって事でいいんですかね？ 確かに笑うべきかどうか迷います。 書き途中でコメントしてしまいました……。

EtOH 9/4 11:58	主人公はいったいいつから・・・？主人公にだけ電話が通じる・・・、なるほどって感じです。 ３分間ってこういう風にも使えるんですね～。 ＞halcyonさん ほんと、いったい何時だったんでしょうね？主人公も異世界行っちゃってたんなら時間の流れ方はめちゃくちゃだから・・・。電話に出た時は遅い時間だったということなのでしょうか。
城山 9/4 16:22	最後のところはホラー風味で読みました。 あ、でもあと３分間ケータイ見なければ６時６６分は見なくて済むんですよね。
バケネコ 9/4 21:19	（前コメント引き続き） コメディ、という点がよくわからなかったので、たぶんもう大丈夫です。なるほど、そんな風にも読めますか、僕は何の迷いもなくホラー風味に読んだもので。 ただそれでも、なぜ私が異世界に行ってしまっていたかが、まだちょっとよくわかりません。だって、「私」はまだ6：66は見てないわけですよね？　またEtOHさんも触れてますが、異世界は時間の流れがめちゃくちゃなわけですから、結局6：66がくるのは三分後ではないわけで、そうなってくるとお題との絡みもいまいちすっきりしないんですよねー。んん、深く考えてはいけないのかな。
evolv 9/4 21:34	雰囲気は好きですね。 私としては次元の狭間に落ちれるなんて羨ましいかぎりです。たとえ戻ってこれなくても。理系の憧れじゃないかな。
bfs 9/4 21:42	コメディじゃなくてマジなホラーならもっと仰々しかったり、それでなくともももっと平易な言葉遣いをするような。とくにラスト行。 というわけでコメディじゃないかな、と読みました。 # これ思い出した→『最期の言葉は「危なかった…」』
カゲヤマ 9/5 22:43	私は最初に読んだときにはコメディに読みました。 すると垂直落下式ブレーンバスター食らったみたいですごいなと感じます。 最後の節が >…あぁ、良かった、６時６６分じゃない…ギリギリ３分前だ… ではなく 私は思わず安心した…6時66分ではなかった。その3分前だったのである などのような感じにするとホラーっぽさが出たかもしれません。 ベタなので私はコメディ路線のほうが好きですが。
石花 9/6 2:45	まさかのコメディ。おもろかったです。
me 9/6 21:56	コメディかもだけど、私には最後の一文怖かったです。 ＞ayaさん 電話中に電池切れるときは、警告音が鳴るんで多分わかりますよ。
BELIAL 9/6 23:14	あせってまともに考えられないってことなんでしょうか。 結局普通じゃないという事に気づけない…
halcyon 9/7 0:8	最近スロットにはまってる友人が、そっくりな事を言い出しました… 時計で７７７が見たいって言われても。
太祖武帝 9/7 12:11	ホラー感が出ていてよかったですね！６時６３分って私にいわせると、なんか既に異次元にいってると思うのですが…。たまには異次元にいって楽しんでもいいと思いますよ！６時６６分の出る世界に！
s.o.u.p. 9/7 22:42	最初から最後までホラーとして読みました。 アツコは「私の部屋の時計はアナログだから」と、安心していますが、ラストで知らないうちに異次元に行ってしまったんですよね？ 読者のあなたは大丈夫ですか？ 時計が変な時間を指していないかどうか、確認する勇気は？
qofhk 9/10 19:48	異次元は時間がめちゃくちゃになっているだけなので、まだ現実世界かなぁ？
ひま人 9/11 1:31	結局６:６３という現実にはありえない時間で、主人公は別次元にいるということですよね。上手い文章だったと思います。

カエデ 9/11 2:12	つまり、あと３分後には…。 描写力と発想力に驚かされました。
floccinaucinihilipilification 9/11 2:55	自分はホラーだと思いましたが、コメディ解釈もあるのですね。 はっきりさせるために最後のセリフに工夫が必要だったでしょう。 別次元で時間が時間どおりに流れないとすれば6時66分まで3分間あるわけではないと考えるのが普通だと思うので、お題に対して若干苦しいところがあると思います。
城山 9/11 3:57	別次元に行くためにはまず現実世界で6時66分を見なければならないんですよね？ 今の主人公が既に別次元に行ってしまっているとしたら、現実で6時66分を見たのはいつなんでしょう？ というか、現実で見る最初の6時66分に至るまでの6分間はどの次元なんでしょうか。異次元だとしたら前提と外れるし、現実にはありえない時間だし… あぁ…疑問ばかりでちゃんと読み取れているのかが不安です。

ＴＯＰへ

３分間で話

総合順位：4位
合計ポイント：14 Point
作者：floccinaucinihilipilification
作者コメントを読む

「3分間待ってやる*1」

日本一有名な大佐*2、ロムスカ・パロ・ウル・ラピュタ氏の名言である。

例えば、カップラーメンはお湯を注いで3分待つものが主流だ。
例えば、日本を数々の危機から救っているウルトラマン氏が地球上にいられる時間は3分*3だ。
例えば、あの名うての船医、トニートニー・チョッパー氏の切り札ランブルボールの制限時間も3分*3だ。

海外諸国のことは分からないが、とりあえず日本人は3分という時間が好きらしい。
3分、あるいは180秒。何か理由があるのだろうか。

3とは数学的に大変美しい。
3は素数である。つまり、1と3以外で3を割り切る事は出来ない。
1以外の自然数の積によって3を示す事は出来ないのだ。
孤高で誇り高い数である*2。
素数と言えば、日本一有名な神父*2であるエンリコ・プッチ氏を思い浮かべるだろう。
筆者も焦った時には素数を数えて落ち着く事は多々ある。
閑話休題、さらに深い数学的な3の魅力については文字数の関係で割愛*4させていただく。

上にあげた日本における3分の登場例の考案者たちもまた3の魅力にとりつかれたのだろうか。

何にしろ3という数字や3分間という時間に何か神秘的な魅力がある事に間違いはないだろう。
これから先も各所で3分間という時間に出会う事は多いだろう。
この素晴らしき時間に感謝と敬意を示し、3分間を過ごしたい。

脚注
*1 実際に作中で待った時間は51秒間である。これは3の倍数である。
*2 異論は認める。
*3 どちらも作中では3分間以上出演あるいは変身しているようであるが、時間の流れが現実世界と違うと解釈するのが一般的である。
*4 3の魅力については3というワードでGoogleで検索をすればすぐに知る事が出来る。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 15:12	本文からも脚注からもセンスが溢れ出てますよね。この妙にいい加減な雰囲気は、なかなか狙っては書けるものではないと思います。 ところで、「素数を数えて落ち着く」って言われるとなんか変な想像をしてしまうのは…そうですか僕だけですか。
halcyon 9/3 18:24	素数好きな自分としてはなんか嬉しくなるコラムです（笑） ＊２の脚注にセンスを感じます。
八剣 9/3 23:51	あっ、ラピュタが続いた。 半分も書いてないのに文字数の関係で割愛とかいわれたくない。
城山 9/4 16:30	脚注と飛躍っぷりがかなり好みです。 ＞孤高で誇り高い数である*2。 これにも異論認めちゃうのが素敵ですね（笑）
白磁 9/4 18:3	＞筆者も焦った時には素数を数えて落ち着く事は多々ある。 お友達になりませんか。
SOta 9/4 21:31	正統派を装ってネタ満載。 脚注1の「これは3の倍数である。」にやられました。
evolv 9/4 22:13	「プランクトンごときがわたしに向かって得意顔に解説を入れるんじゃあないッ」 「このちっぽけな小僧がああああああああああ ああああああがあああああ ぐあばあああああ」 みんなも素数を数えて落ち着こう！
EtOH 9/5 8:41	なんかネタなんですけど、読んでいて勉強になりました(笑) ３ってすげー！って。 えっと、なんとなく3回まわってわんと言ってみます。ぐるぐるぐる、わん！
めんとすこーら 9/5 9:28	真剣そうに見えていい加減な語り。好きです。 ネタが二次元ばかりなところがなんともくだらなさを助長していますね。
カゲヤマ 9/5 17:18	まともなこと書いてるのに不真面目さが伝わってくるのは面白いです。なんでででしょうね。ねらってできるものなんでしょうか。 「異論を認める」って書いてありますし、もっとスカタンにしてやりたい衝動に駆られます。 おれは5の方が好きだあああああ！！
s.o.u.p. 9/7 1:0	「3億円事件」(実際には2億9430万7500(3の倍数)円事件。)も3の普及を手伝っていることをお忘れなく。 アンサイクロペディアみたいで面白かったです。
太祖武帝 9/7 11:55	きれいにネタと正統派がまとまっていてよかったです。脚注１は知らなかったので結構参考になりました。 ちなみに、*2が２つ出てきて*3が本文中で見当たらないのは読み違いでしょうか？
浅間ぱんだ 9/8 1:54	ネタの入れ方がウマいです！ 唯一気になったのは、 ＞時間は3分*3だ こう書かれると、どうしても3×3＝9という計算が脳内でなされてしまうことです。。 もっとも、これは私側の問題でもありますがw

やまのかめさん 9/8 7:5	うーん、もっと突き進んでほしかったなぁ。ネタで突き進むか、正統派の議論を深めるか、そのどちらも難しかったらせめて分量をもっと積み重ねるか。この程度じゃちょっと弱い印象。脚注の活かし方はいい感じだと思うし、もっとがんがん書いてほしかったなぁ。 > 太祖武帝さん 脚注*3を参照しているのは冒頭の「3分*3」ですね。浅間ぱんださんがコメントされていますように3×3＝9に見えてしまう部分ではあるのですが(苦笑)
森　武 9/8 20:29	ラピュタネタが続いて、最初の一、二行で吹きました。
石花 9/9 2:39	八百科事典みたい…って、もう書かれてますね。 ネタ満載で、楽しかったです。
BELIAL 9/9 18:38	理論的なようで理論的じゃない。 だけどそれが面白いですね。
to　洋灯 9/10 11:51	三つ目がとおる　は何人ぐらいが知ってるだろうか・・・。 ＞筆者も焦った時には素数を数えて落ち着く事は多々ある。 97ぐらいまでなら、自分もしばしば。
Albino 9/10 21:57	書き方は一応正統派コラムなのに、何だこの笑いをこらえきれないこの内容は（笑） １と２の脚注が好き。しかし、１は知っていたのかネットに乗ってたのか。ここは本気で数えてほしいが（笑）
halcyon 9/10 23:7	＞to　洋灯さん 　三つ目が通る、懐かしいですねぇ…
kk21 9/11 0:53	脚注が面白い！「文字数の関係で省略」せず、もちょっと読みたかったかも。
カエデ 9/11 1:55	面白かったです。 同じ系列のコラムを書こうと考えていましたが、ランブルボールは思いつきませんでした。
ザ サン・オブ・オージー 9/11 5:40	まさかプッチ神父がでるとは・・・。バルス氏だけだと思ってました・・・。 でも、素数は数えませんよ（笑）

ＴＯＰへ

弟よ

総合順位：5位
合計ポイント：13 Point
作者：やまのかめさん
作者コメントを読む

　和樹が唇を咬む。そんなに緊張するな、和樹。
　俺は右手を伸ばして和樹に近づいた。和樹はすっと目をそらし、少し腰を引いて俺の手を振り払う。ん、どうした、兄弟だからって、やりにくいなんてことないだろ？ 俺は今度は左手を伸ばした。和樹はやはり払いのけようとするが、無理矢理に腕を差し入れで襟を掴む。
「ん……っ」
　微かに声を漏らす和樹の襟元に鎖骨が覗く。白く浮き出たその下には、傷跡が生々しく残っている。覚えているよ、和樹。お前は昔っから生っちろいくせして無茶ばかりしてたよなぁ。俺はいつも冷や冷やさせられてたよ。

　和樹は俺の手を振り解こうとするかのように身をよじる。が、俺はその隙に、右手でも襟を掴んでしまう。
「あっ」
　和樹は慌てたように、顔を真っ赤にしてもがく。
　お前はなにかに失敗したりするとそういう顔をするんだよな。俺は心の中でクスリと笑ってしまった。お前は俺に負けたりすると、いつもそんな顔をして、もう一度って言ってきたっけ。お前のそういうとこ、俺はずっと好きだったよ。

　俺は和樹の身体を引き寄せようとしたが、和樹は大きく身体を揺すって抵抗する。その抵抗は思いのほか大きかったが、はだけた襟の間に見える和樹の胸は、痩せてあばらが浮いている。たくましくなったとは言ってもまだ子供の身体だなぁ。俺の心に一瞬のためらいが生じた、が、こちらから身体を寄せて一気に押し倒す。和樹はもがいて逃れようとするが、俺はそのまま組みついていく。互いの息が感じられる程に顔が接近する。
「……ぅ……くっ……」
　和樹の息遣いが耳に届く。俺はそのまま押さえ込もうとしたが、和樹は顔を背けてもがく。
　唇を咬んで顔を背ける仕草は、少し胸に痛い。そう、少しずつ、そんな表情が増えていったっけ。お前が成長していくのは嬉しかったが、そうやって俺と距離を置くようになっていったのは寂しかったよ。俺と別の中学を選んだのは、俺から離れたかったからなのか？

　と、和樹が大きく腕を振る。俺は思わず身を反らせてしまい、その隙に和樹は俺を振り解いてしまった。和樹は距離を置いて身を起こす。顔を紅潮させ、はだけた襟元に手をやる。顔を上げた和樹の唇はぎゅっと結ばれ、目は睨むような視線を向けてくる。敵意にも似た強い視線に、俺はいささかたじろいてしまう。そんなに――そんなに思い詰めるなよ和樹。

　仕切り直しだ。俺は視線に構わずに和樹に迫った。和樹は張り詰めた表情で、また俺の腕を払いのけようとする。ちらりと時計に目をやる。のんびりしすぎたな。そろそろいくぞ、和樹。俺がわざと身を引くと、和樹は俺を押し返すかのように腕を伸ばしてくる。
　その瞬間、俺は一気に腰を入れた。和樹の目が大きく見開かれる。
「あぁっ！」

そのまま腰を突き上げる。
「アーッ！！！」

――和樹との思い出が頭の中を駆け巡っていく。共に過ごした日々。ケンカもした。イタズラもした。お前はいつも俺の後を追いかけてきてたよな。遊ぶのも怒られるのも、ずっと一緒だった。忘れられない、かけがえのない日々。お前は今でも、俺のかわいい弟だよ。俺はいつだって、お前を喜ばせたくって、お前を楽しませたくって――

一瞬、和樹の視線が俺の視線と絡み合う。大きく見開かれた目が、じっと俺を見据えている。いつからかお前は、俺の後ろを歩いているだけでは満足できなくなってしまったのかな。ゴメンな和樹。でもな、まだ、兄として、俺はお前に負けるわけにはいかないッ！

和樹の身体はくるりと一回転し、きれいに背中から落ちた。直後、ブザーが鳴る。終了間際の一本、文句無し。俺は大きく息をつき、和樹を見下ろした。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
laket 9/3 9:19	これはうまい。 「何いかがわしいこと想像してんの？」 と作者に指をさして笑われて気分です。
bfs 9/3 11:13	くやしい…柔道だってのは冒頭から予想ついてたのに…でも…。 普通に文うまいのがね、もうね、なんというかね。 # でも真剣試合中にそんな所に目が行くのはやっぱりそのケがあると思うよ。
バケネコ 9/3 15:33	ちょ、やられた。もう完璧に一本決められました。というか、薔薇色な展開を期待してしまった自分が悔しい。
柚子(ゆうこ) 9/4 0:15	単なる兄弟げんかにしては様子がヘン、　と思いつつも最後にやられました。中学校は別　という所で受験を思い出したり、家もみんな別々です。この兄弟はきっと年子なのでしょうね。緊張の３分間が伝わってきました。
浅間ぱんだ 9/4 0:56	うまいなぁ。 しかし、本文以上に↑のコメントが面白いですw
石花 9/4 21:20	アーッ！！！ みごとに騙されました。薔薇じゃないなんて！
evolv 9/4 21:47	私としてはみなさんがコメントで男同士にも薔薇色ということにびっくりですよ。 作風は好きなんだけど、男同士だと体が受け付けない。
SOta 9/4 22:0	柔道でこんな描写ができるとは……。 アッー！じゃなくてアーッ！！！としたのはわざとかな？
城山 9/5 16:18	R15だからまさか本物の薔薇には行かないだろうけど、どんなオチが来るのかなとドキドキしながら読んでました。 なんでもない描写がいちいちエロい。 確かにに皆さんのコメントが面白いですよね。コレ。

カゲヤマ 9/5 17:11	コメントに意外と「薔薇」が多いので驚きました。 皆さん意外と業界用語知ってるんですね。 私としてはどちらかといえば薔薇より百合の方が…おっと失言でした。 柔道をやるにしては少し不自然な行動があるのに、かなり自然にBLに持っていかれていた文章力はすばらしいです！
halcyon 9/6 21:49	兄がこんなこと考えていると知ったときの弟の反応はいかなるものか、大変気になります。
ノア 9/7 2:3	寝技の得意そうなお兄様だこと。 片想いとはせつないものだねぇ… これがオリンピックの後でよかった。
s.o.u.p. 9/7 19:14	薔薇な展開と勘違いしました、柔道初段です。 文章力が見事ですね。本当に騙されました。それに「3分間」の競技であることも。これを書かないのもすごい。 でも、少し言わせてください。 ＞こちらから身体を寄せて一気に押し倒す。 躊躇いがあったとしても、ここで一本取れるくらいの実力の差はありますよね？ 取らなかったのは成長した弟への優しさですか？ それとも、読者への悪意ですか？
白磁 9/8 18:13	もう「3分間」がどこに使われてるかすら気になりませんでした。 作者さんすごい。「誘惑」もがんばってください。
Albino 9/10 21:52	この作者、できる…！ いや、それっぽいことが入った時点で裏が想像ついたんですけどね。 しかしそれ抜きでもこの兄、軽く薔薇の香りしてますよ（笑）
floccinaucinihilipilification 9/11 0:40	アーッじゃねえよ作者！すみません、取り乱しました。 兄だけでなく弟も若干そっちの気があるような・・・兄視点だから美化しているだけでしょうか・・・。

ＴＯＰへ

贋作・第一夜

合計ポイント：12 Point
作者：白磁
作者コメントを読む

こんな夢を見た。

どこかの国で自分は文士になっている。売れてはいるが、学のある人には見向きもされない。世の中の文士の内、売れている方には媚びへつらわれている。売れていない方には妬まれている。二大新聞と呼ばれる内の部数が多い方に小説を連載している。部数が少ない方に連載をしているのは、元帝大の講師である。
一度彼の作品の設定を借りたことがある。いや借りたという程でもない、脱稿して返って来たゲラを読んでいたら、嗚呼この話は読んだ事があるなと思った。何処で読んだかと考えていると、揺れもしないのに書棚の上から雑誌が落ちてきた。開かれた頁には彼の名前と、彼が同人時代に書いた小説が載せられていた。
また一度、同じような事があった。書き上げた原稿を前に、おやこの話は何処かで、と首を傾げ、書棚の中を漁ると昔子供に読んで聞かせた怪異集が出て来た。頁を繰ると、偶々止まった頁の真ん中に、私が書いた文章とそっくりそのまま同じ文が鎮座していた。玉をころがすような、という形容の辞もそのまま。見返しを見ると、監修は彼だった。
どちらの時も、背筋に冷たいものを感じながら原稿は編集者に渡した。編集者は帝大を出ている。悦びながら、さすが文豪、と声をかけられた。やあ、任してくれ給えよ。それ位しか言葉は出て来なかった。

今朝方、編集者が血相を変えてやって来た。先生、これを見て下さい。差し出された紙面には、昔私が構想をちらりと編集者に聞かせた小説が載っていた。書き出しの文は、全く同じだった。筆者の名前は聞く前から解っていた。
帰ってゆっくりやすみ給えよ。頭を冷やした方が良い。ほら、誰でも思い付くような話じゃないか。云いながら、手はじっとりと湿っていた。

これでは自分が書いているのだか彼の分身が書いているのだか解らない。ほとほと厭になったものだから、死ぬ事にした。
それで今医院で処方された薬を一つ二つと勘定している。何時だったか医師が、先生この薬なら三分間の内に死ねますよと笑った事がある。何かの話の種になれば良いと思ったに違いない。全部数えると致死量の二倍はあった。
自分は安堵した。大量服薬で死にかけた女が残り一週間を生きる間に大事な事を思い出していくなど、地球の真裏の流行小説をなぞるのは真っ平だ。
そう云えば、彼も三分だと云っていたなとふと思い出した。それぞれ特注の原稿用紙一枚を埋めるのに必要な時間の事だ。二人とも三分間で一枚書き、それを食うために充てていた。どんなに真剣な顔をしてみても、自分にとって文学など飯の種に過ぎなかったに相違無い。だから罰が当たったのだと洋酒で薬を飲み下しながら考えた。

先生々々と呼ぶ声がして目が覚めた。先生々々。先生々々。今しがたまで何か夢を見ていた気がするが、内容は急に遠ざかっていく。ふらふらと体を起こすと、漱石先生、と編集者に顔を覗き込まれた。先生原稿は未だですか。

何かとても気味の悪い夢だった気がする。まあいいかと思った。これまで全部切り売りして来たのだから、見た夢の事くらい書いても構わない。文机に向き直ると、原稿用紙は一枚目がまだ書きかけのままだった。「三分はまだ経っていなかったんだな」とこの時初めて気が付いた。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
bfs 9/3 11:25	『文学を科学する』は井口先生の講義だけマジメに聞いてレポート出してない俺がきましたよ（もし違ったらごめんなさい）。 夏目漱石『夢十夜』パロディとしてよく出来てると思う。文体もオチも上手い。 …でも『夢十夜』読んだことある人間って一体どれだけいるんだ…俺みたく講義で読んだ人はそこそこいるだろうけど。 # 自分はあの小説が結局なんだったのかさっぱり分からなかったクチ。
バケネコ 9/3 17:27	夏目漱石は「こころ」とかの有名どころ以外あまり読んでいないので、たぶん落ちはちょっとわかってないと思います、すみません。でもそれでも、文章から立ち上るこのレトロな雰囲気は、しっかり受け取れましたよ。文体だけで話の空気を練り上げてしまえるというのは、もうなんかとてもうらやましいです。
aya 9/3 22:52	「こんな夢を見た」で、夢十夜のパロディだとやっと気づきました。タイトルを見て気づきたかった…。 「百年はもう経っていたんだな」が「三分はまだ経っていなかったんだな」になっているのがなんだか面白い。文体もよくなぞられていて、いい作品だと思います。
柚子(ゆうこ) 9/5 16:25	文章の運び方が独特なのが気になって、読む進んでいったら夏目先生の登場　こういうコラムもあるのですね。着眼点を羨ましく思います。
カゲヤマ 9/5 23:5	夢十夜は読んでいないのでどんなパロディなのかはわかりませんが、わたしはとりあえずレトロな雰囲気にとりいって楽しみました。 言う→云う ゲラ、帝大、先生々々 など、技がぬかりなく、細かいですね。
やまのかめさん 9/6 12:24	夢十夜は細かいところまで覚えていなかったので、青空文庫で夢十夜読んできました。その上で本作品を眺めてみますと、なかなかよくできたパロディなのではないでしょうか。文体もよく真似て雰囲気が出てますし、単に単語や場面を置き換えただけとかそんなことはなく、夢十夜原作を彷彿とさせながらきちんと新しい一夜を物語っています。個人的にはかなりいい感じです。
floccinaucinihilipilification 9/6 22:38	元ネタが分からないのが悔しいと思うぐらいに文章自体のレベルが高いですね。 ちょっと夢十夜読んでこようと思います・・・。
葉月 9/7 13:49	同じく元ネタがわからないのが悔しくて悔しくて。 でも、元ネタを知らなくても面白いと思える、重厚かつ上手い文はお気に入りです。
halcyon 9/7 13:57	無理なく自然に書き換えられているところが凄いですね。
EtOH 9/7 14:26	雰囲気は十分楽しみました。でも元ネタ知らない・・・。悔しいですっ！元ネタ知ってたらもっと楽しめたんでしょうね。
s.o.u.p. 9/7 23:18	漱石の作品なんて。最近『こころ』買ってきたくらいで一冊も読んだことがないですよ。 とりあえず、夢十夜読みます。
石花 9/9 2:7	元の話を知らないのが悔しい…やっぱり名著と言われるものは読んでおいたほうがいいなぁ

ビーフステーキ 9/14 19:31	大丈夫俺も授業全部聞いたけど最後のレポート出してない。 用事でさっさと帰省しなきゃならんかったので。実際ちゃんと内容聞いてたのは井口先生のだけなんだけどねー。 そして何その読書コミュニティ。自分の周りで『夢十夜』読んでそうな人なんて多めに見積もっても両手で数えるくらいしか思いつかん。うらやましい。 # やはりその名で呼ぶか。
ビーフステーキ 9/14 19:35	「両手で数えるくらい」って言うとすげえ多く聞こえるけど、「日本近代文学に手を出してる可能性がそれなりにありそうな人」全員カウントしてこんくらいだからなあ。

ＴＯＰへ

「二色」

合計ポイント：12 Point
作者：葉月
作者コメントを読む

「んじゃ、すぐ戻るからちょっと待ってて」
　ガタンゴトンと騒音が耳障りな高架下、トイレに向かう彼の後姿に、急がなくていいよと一声かけて見送り、ふと息をついた。
　急がなくていいよと言ったものの、正直こういう待ち時間は嫌いだ。立ち呆けて待つには長すぎるし、本を広げるには短すぎる。かといって、ものがトイレだから我慢させるわけにもいかないし、急がせて早く終わるものでもない。結局のところ、何もしないには長すぎる時間を、ただぼうっと待つしかないのである。最近、忙しくて仕方ないボクには全く持って苦痛な時間だ。今日も早く帰ってレポートをやらないといけないし、それが終わったらテスト勉強。明日の昼休みは飯も食わずに部活の会計処理と文化祭の準備だ。憂鬱な気分が胃を刺激して、軽い痛みがキリキリ唸る。
　かといって、トイレごときせいぜい２～３分。よくよく考えれば目くじらを立てるほどの時間ではないことも分かってはいる。分かってはいるが、やることの無い時間が不安で仕方ない自分もいる。こんなにも余裕がなくなっているとは、我ながら情けない。また、ため息が一つ。幸せが逃げるなんて知ったことではない。石段にどすんと腰を下ろす。目の前には寂れたクリーニング屋。右も左も道路が続くだけ。頭上からはまた騒音が降り注ぐ。さっき通ったばかりだろ電車。こんな田舎でそんなに忙しなく動いても仕方あるまいに。
　騒音が遠ざかり、ドップラー効果の余韻が耳に安らぎを与えるころ、ガタゴトのさらに頭上から、チチチ……と、アフリカ部族の打楽器のように独特な鳴き声がした。見上げると、スズメが三羽、羽を広げて滑空していた。梅雨明けの空にはバカみたいに大きな雲が、気持ちの良い風を受けてゆったりと流れている。お天道様のやわらかいオレンジ色に照らされた空をキャンパスに、白いわたあめは何者も意に介さないように、クリーニング屋の向こうに姿を隠していく。それを追っかけて、
　チンチン……と、自転車のベルがアスファルトの突起に反応する音が聞こえる。右を向くと、メガネをかけた中学生と目が合った。なにやら怪訝そうな顔をしていたその子は、すぐに前を向き通り過ぎる。遠ざかる背中は心なし急いでいるように見えた。コロコロコロ……とクリーニング屋の前には、ショッピングカートを支え代わりに頼りなく歩くおばあさん。ひび割れた壁は、高架の影と太陽の光で、地平線のようにまっすぐな陰影を造っている。この絵に題をつけるなら、ボクのセンスだと「二色」だな。カツカツカツ……、と歩調の早いOLは、帰る時間にはまだ早すぎるのではないかと妙な不安感をあおる。彼女が歩いてきた道の向こうには、どこまでも続く道路と、どこまでも続く夕焼け空。点々とアクセントをつける、少し染まった白い雲。「二色」を作り続ける建物達。
　ああ。
「悪い悪い。お待たせ」
　んじゃいくか、と一言交わして腰を上げる。彼と話しながら帰る道のりには、もうどこまでも続く空なんてない。誰かと歩く道のりで、気づくことなんてできない。
　あれは、ボク一人に神様がくれた、１８０秒間の幸せ。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 16:9	お題との関わりはちょっと薄いように思いますが、すごく感情移入しやすい作品でした。確かにありますよね、日常生活の中で、急に詩的な気分になってしまうこと。
EtOH 9/4 13:22	どこまでも続く空っていいですよね〜。・・・すいません、自分は誰かと歩いていても、誰かそっちのけで空見てます(笑)。 最初のイライラ感がだんだんなくなっていくというのがうまく書かれていたと思います。
柚子(ゆうこ) 9/4 13:51	「やることのない時間が不安でたまらない自分がいる。」主人公の気持ちを的確に表している言葉ですね。作者さんは日ごろから自分の感情を言葉に置き換えているのでしょうか？
SOta 9/4 23:3	描写が細かくて、作者の文章力が光る作品だと感じました。 所々に入る擬音語でいい雰囲気が出てますね。
カゲヤマ 9/5 20:11	私にもうちょっと絵心があったらたぶん絵が描きたくなったるんでしょうね。そんな日常の美しさが感じられます。
to　洋灯 9/5 21:48	時間にして三分間なのに、ものすっごい記述量ですね。 それなのに読者に読ませる文章力はなんなんですか。 すんなり読めてしまいます。
s.o.u.p. 9/6 19:59	3分間でこれだけのものに目を向けてしまうのは、やっぱり余裕がないように思えてしまいます。それで、「180秒間の幸せ」と言われても、強がっているようにしか……。 と、失礼なことを書いてしまいました。 こんな感想もある、という程度に参考にしてください。
やまのかめさん 9/7 22:44	このようなちょっとした「ひととき」を切り取った作品というのは個人的に大好きなのです。描写も結構いい感じ。あれこれ目を向けているというよりはあれこれ目に入ってきたものを描写している文章だと思うのですが、s.o.u.p.さんのような感想が出てきてしまうのは、目に入ったものを逐一文章にしてしまうと、やっぱりぼぅっとしているよりは目に入ったものをいちいち認識している(目を向けている)ような印象になってしまうからでしょうか。個人的にはそんなに気にしなかったのですが、前半のイライラした感じに対して、後半をもっと間を持たせながら、ゆったりと景色に浸らせる描写にしてもよかったのではないかとは思いました。 また、タイトルの「二色」ですが、本文中でも括弧付で強調されている「二色」は直接的には光の陰影を指していますよね。でも本文全体の中ではこの「二色」はあまり重きを成していないように見えるのですが。それとも、静かな一瞬と騒音に満ちた一瞬、ゆったりとした動きと忙しない動き、焦る自分と景色に浸る自分、というようにいくつもの対照的な場面や情景を象徴しているのでしょうか。だとすると本文中の「二色」は変に括弧付きで強調したりしない方がよかったような。ちょっとしたことなのですが。
s.o.u.p. 9/8 0:11	＞やまのかめさん その通りです。作者さんが悪いわけではないのに、失礼しました。
石花 9/8 1:1	実際に、こう、情景が浮かぶような気になる文章でした。 …「彼」と「ボク」の単語を見た時点で薔薇な展開かと思った自分が恥ずかしい

やまのかめさん 9/8 6:34	> s.o.u.p.さん いや、あの、失礼とかそんなことは全くないと思いますが……自分の印象ではこうなってしまうんですが、というのも立派に一つの感想ですし、それを紹介するのは有益なことだと思います。ましてや、作者さんや作品に対して礼を失しているなんてことは全くないはずです。思ったこととか感じたこととか、どんどん出していきましょうよ。 > 石花さん ……自分の頭の中では彼氏付きのボクッ娘になってました。
s.o.u.p. 9/9 5:17	一人で3つもコメントなど、無粋な真似をしてすみません。 最初のコメントで自分の印象を正直に書いたのですが、よくよく考えてみるとこういう描写って昔から小説で読んだりしてるんですよね。それをまったく忘れていたので「私のコメントが書いた側から見たとき、どう感じられるか」と考えるのが不十分でした。それで、この作者さんを傷つけてしまったかもしれないと。 この「iランド」には思っていたよりも繊細な人が多いようなので。 礼節に欠けたと思ったのは、そういう気遣いが足りてなかったと自覚したからです。 長々とごめんなさい。
作者 9/9 8:59	＞s.o.u.pさん だいじょうぶい。 ごめんなさい。 作品に対する感想はそれがどんな批判であったとしても、作者は受け入れるべきというのが僕のスタンスです。ぶっちゃけ、「なんかつまらないからキライ」という感想を書いてもいいとおもうのです。先に全く活かせないのが悲しいですが。感想において礼を逸してるときなんて、作者の人格に対する批判くらいではないかと。人の目に触れるものを書くのですから、それなりの覚悟はしておくべきですし、そもそもs.o.u.pさんの感想は批判というのはおこがましいほど毒がないですし。褒めてばかりの世界なんて面白くない。もっとガスガス批判がほしい。s.o.u.pさんももっと毒を持ってください！　容赦なく理路整然とした批判をしてください！　反省しやがれ！　ごめんなさい。 まあまとめると、ぜんぜん気にしてないので気にしないでください。むしろ、もっとやってください。そんな感じで。
floccinaucinihilipilification 9/10 18:54	濃い3分間ですね。実際にこのぐらい頭の回る人であればちょうどいいぐらいの時間な気もします。そういう意味ではリアルな3分間でしょう。 主人公が女なのか男なのか・・・まあ気にしないでおきます。
浅間ぱんだ 9/11 4:58	私はボクっ娘の存在など信じないので、まぁ、そういう方向で解釈させていただきますw

ＴＯＰへ

やり直し、くり返し

合計ポイント：12 Point
作者：to　洋灯
作者コメントを読む

「・・・というわけで、これがそのタイムマシンです。」

木戸はそこで言葉を切り、枕ほどの大きさの砂時計を取り出した。
会場は水を打ったように静まりかえっていた。誰もが木戸の一挙一動に注目していた。

「この砂時計をひっくり返すときっかり三分前にタイムトラベルします。とはいえ、先程も申しましたが、過去に移動できるのはひっくり返した者の意識・記憶といったものだけとなります。人や物の配置は三分前の状態になるため、三分前に現在から物を持ち込むことも不可能、ただ三分後の記憶があるだけなのです。とはいえ、常にこの砂時計を持っているならば、20回以上繰り返して一時間前に戻ることも可能なのです。では、実際にやってみましょう。」

「今から15分後、９時ちょうどに地震が発生します。この地震でそこの花瓶が落ちて割れ、欠片がここととここ・・・・・・ここに飛びます。」

木戸はそう言いながら床を指し示していった。

９時、地震が発生。花瓶が割れ、欠片はちょうど木戸の示した位置に納まったのだった。

世紀の大発明！　翌日は新聞各紙にそんな活字が躍った。誰もが木戸を称え、彼の砂時計を欲しがった。

木戸は砂時計を改良した。転倒防止装置を取り付け通常サイズの砂時計まで小型化し、大量生産して売り出した。新車に匹敵するほどの値がつけられたが、販売と同時に品切れとなった。木戸は砂時計の改良に力を注いだ。

また、木戸に触発されてか、他の学者達も次々に新発見、新発明をしていった。生命の住む星の発見、三次元テレビ、空中歩行装置、癌の完璧な治療法、幽霊の科学的解明など、ほぼ毎日のように学会が大騒ぎした。この年は後に、『科学革命の年』と呼ばれることとなった。

発表の三年後、木戸は一時間用の砂時計を作った。この頃には人類の大半が砂時計を手にしていた。また砂時計は犯罪の抑制も促した。泥棒にしろ、殺人にしろ、過去に戻って未然に防ぐことができるのだ。警察も砂時計を使うようになり、犯罪率は目に見えて減少した。

発表の五年後と十年後に、木戸は一日用、一ヶ月用の砂時計を作り出した。もはや砂時計を持っていない人な

どいなかった。泥棒や強盗は死語となり、警察の主な仕事は捜査から操作になった。

ところが困ったことが起きた。期末試験にしろ、採用試験にしろ、全ての筆記試験が無意味になった。実施しても全員が模範解答なのである。さらに動物園や美術館、博物館といった施設に行く人はほとんどいなくなった。正確には出費を嫌って、行かなかったことにしていたのだ。ほとんどの施設が閉鎖に追い込まれていった。

そして科学の進歩は止まった。新発見の手柄は確実に横取りされてしまうのだ。横取りに横取りが繰り返された結果、数十年分の、数百年分の新発見、新発明が『科学革命の年』まで持っていかれたのだった。

それに気付き、木戸は自らの発明を深く後悔した。こんなもの、発明しなければ・・・

木戸は過去に戻り始めた。

一ヶ月用を用いて発表の十年後まで、一日用で発表の五年後まで・・・発表の三年後は三分用しかなかった。それでも少しずつ、少しずつ、木戸は未来を変える為にひたすら砂時計をひっくり返し続けた。

とうとう『科学革命の年』に、ついには発表前夜まで戻ることが出来た。

木戸は学会に欠席の連絡を入れた。全てを無かったことにしようとした。

翌朝、まずはタイムトラベルの理論を記したレポート、砂時計の設計図、実験ノートといったありとあらゆる書類を焼却処分した。自らの研究は次々に灰になっていったが、木戸の心は達成感が占めていた。

時計が９時を指した。地震発生。机の上にあった枕サイズの砂時計は半回転し・・・床に着地した。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 18:18	作者さん、鬼畜ですね。絶対ハッピーエンドくると思ったのに。また、風刺的な要素に関しても、程よい混ざり具合で良かったです。
八剣 9/3 23:32	ループしても一回で済むかと。その程度でめげるもんでもないかず。
石花 9/5 22:21	これ、誰が最後にひっくり返したことになるんでしょう？
カゲヤマ 9/5 22:49	いわゆるタイムパラドックス満載ですね。 発想はベタなんですが最後の >時計が９時を指した。地震発生。机の上にあった枕サイズの砂時計は半回転し・・・床に着地した。 がなんか決まり文句過ぎてかっこよくて切り捨てられません。
ノア 9/7 3:49	ラストの砂時計って２行前に戻るだけですよね？ この砂時計が木戸にひっくり返されたとことになるなら書類を焼却し直して砂時計を安置して終わりですな。
神代千早 9/7 18:38	誰もひっくり返してないのに３分戻っちゃって、全部抹消しようとした記憶もなかったことになるって話ですかね。欠席の連絡を入れた記憶はあるから、そういう解釈は間違いですか。やはり他の方がおっしゃるように、落ちがおおごとに思えないのが誤読なのかどうなのか。作者さんのコメントをお待ちしております。

s.o.u.p. 9/7 21:48	最後の文は「戻ってしまった3分間で何が起きたのかを読者に想像させるため」という風に解釈したのですが、違ってますか？ オチ(というより最後のどんでん返し？)は読んでいて楽しかったです。
浅間ぱんだ 9/8 2:24	オチは読者に任せているんでしょうね。 転落防止装置をつけたとしか書いてないので、転落した時に何が起こるかは本文ではわかりませんし。 よくわからないので、作者コメントで解説いただきたいところです。
白雨 9/8 12:8	タイトルがもったいない気がします。折角面白いのだから、ラストの為にではなく、全体を見てつけて欲しかった。
白磁 9/8 17:55	砂時計の発明は横取りされなかったんでしょうか。 個人的に、枕サイズの砂時計を想像してみてはにやにやしています。大きいな。
ひま人 9/9 13:35	＞捜査から操作になった このフレーズが個人的に好きです。
s.o.u.p. 9/12 2:19	読めてませんでしたね。失礼しました。 そういうオチですか。 作者コメントを読んで感じたことですが、いや本当にしつこいと思われるかもしれませんが、枕サイズの砂時計が転落した後、何度も何度も同じことが繰り返されるということについてです。唯一「ひっくり返した人」になり得る木戸が「ひっくり返った事実を知らない」ことで無限ループが作られてしまう、ということ。 これが本当によくできてると思いました。 私としてはこれだけで十分インパクトがあって、タイトルもラストの為に付けられてしまっていても違和感がありません。本当に、すごいの一言です。

ＴＯＰへ

そんなひととき

合計ポイント：12 Point
作者：aya
作者コメントを読む

さらさらさらさら

こうして砂が落ちるのをただ眺めていると、いろいろなことが思い出される。

あの人と一緒にこの砂時計を買いに行った日。
一緒に砂時計の前で、紅茶を注ぐタイミング待っていた午後。
わざわざカップ麺を食べ始める時間まで、この砂時計で計った夜。

ただただ二人、砂が流れ落ちるのを眺めた、いろんな日。

この砂時計はあの人と私との思い出で、私にとってはあの人そのもので。
大切な大切な宝物。
日常の中で、この砂時計だけは私を昔へと連れ戻す。砂時計を眺めているときだけは、私は昔の私に帰る。

さらさら　さらさら

こうやって穏やかな気持ちで砂時計を見られるようになるまで、ずいぶん時間がかかった。

あの人がいなくなってしまうと聞いて、砂が落ちるのが、まるであの人の命が無くなっていくように感じられて。
あの人が死んでしまった時は、ただ泣いているばかりで、この砂時計なんて見たくもなかった。
しばらくして久々にこれを見たときには、こんどは砂が、あの人の記憶に思えた。私の中から思い出が零れ落ちていく。どんどん忘れていってしまう・・・。

砂時計の下に、静かに静かに砂が溜まっていることに気がついたのは、本当に随分経ってからだった。

今でもときどき、砂時計を見ながら思い出に浸る。過去の中に身を寄せる。
大切な大切な砂時計。
毎日の中で、この砂時計を見ているときだけは、違うトキを過ごしている。

さらさら・・・・

上にとどまったままの最後の一粒を、こつんとはじいて下に落とす。
ティーポットを手に取って、ゆっくりと紅茶を注いだ。

オブジェに戻った砂時計のまわりに、あたたかな香りが広がった。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 18:23	「こつんとはじいて…」のところが、とても好きです。なんか、意識しないでも自然に映像がうかんできますね。
aya 9/3 21:41	あえて3分間という表現を入れなかったのでしょうか？ ほんわかした作品ですね。
evolv 9/3 22:57	空気が好きですね。 改行はこんなにいらなかったかねと思います。ドラッグするための操作がせっかくの雰囲気を崩してしまって。もっとディスプレイが大きければ。
カゲヤマ 9/5 20:2	さらさらが効果的に配置されていたりトキがカタカナだったり、なんともこうロマンチックな雰囲気が漂っていますね。 紅茶が飲みたくなりました。ちょっとダージリンを入れてきます。
me 9/6 20:56	静かな三分間の風景が目に浮かびました。 綺麗だけど切ない話ですね。 「こつんと・・・」のとこ、私も好きです。
石花 9/6 21:18	「静かに…だった」のくだりがステキでした。なんていうか、全体的にキレイですね。
s.o.u.p. 9/7 12:31	＞evolvさん キーボードの「↓」キー、便利ですよ。 思い出が薄れていくなら、砂時計にヒビでも入っていて砂がこぼれ落ちていくのが自然じゃないかと思ったんですが、記憶は「忘れた」と思っていたときに不意に出て来てびっくりすることもありますよね。 砂時計なるほどなー。と思いました。
EtOH 9/7 13:57	あ、僕もキーボードの「↓」使ってます、便利ですね。。。 「こつん」って音、なんだか好きです。可愛くて、切ない感じで。「さらさら・・・・」も、流れるのが終わった感じでうまいなぁと。 外は晴れて優しい日差しが窓から・・・なのか、それともしとしとと雨が降っているのかな？などど関係のないことを考えてしまいました。
やまのかめさん 9/8 7:20	砂時計をキーにして、詩的に、とっても雰囲気のいい文章ですね。ところでカタカナで「トキ」とした意図はなんでしょう？ 単に普段の過ごしている時間とは違うんだということだと思ったのですけれども、「違う時」「違う時間」でよくありません？ 文章の終わり近くで意味ありげにカタカナ表記なんてされてしまって、個人的にはどうも、かえって雰囲気が壊されてしまったような印象を受けてしまったのです。
神代千早 9/9 8:11	やまのかめさんに絡んで。 「トキ」にしたのはたぶん、単なる時間ではなくて、主人公が特別の思いを抱いている瞬間を過ごしていることを表現したくて、そのように読者に立ち止まってもらうことを意図したのではないでしょうか。普通の「時」ではないのだよと強調をしたいと。 私はそういう意図で敢えて常用の漢字を使わない場合がありますので、違和感は感じませんでした。私なら「刻」を使うかな。「とき」と読めませんが、意図は伝わりそうな。 作品の方。表現はやわらかで、描写は伝わりやすいです。心の動きも含めて丁寧な文章かと思います。
やまのかめさん 9/10 4:59	では絡まれてしまったので少し補足を。 「トキ」は普通の時間とは違うんだということを強調したくての表現なのだろうとは思います。ただ、個人的な感じ方の問題になってしまうのですが、平易な漢字で書ける言葉をわざわざカタカナで(ひらがなでもなく)書くというのは、自分にはかなりあざとい強調に見えてしまうのです。そういうカタカナ表記が似合う文章もあります。ですが、語り手による静かな物想いが連ねられていくこの文章では、過去に想いを馳せている語りに浸っていたところへ執筆者からの強調が入り込んできた、というような印象を受けてしまったのです。

halcyon 9/10 14:58	やまのかめさん、神代さんに絡んで。 自分はトキというのは瞬間という意味と時間という意味の掛詞かなぁと思いました。普通に漢字で書くと大体後者に偏ってしまうので。 ただ、自分はあまりしっくりと来なかった口です。 あと、細かい突っ込みになってしまうのですが、「今でもときどき」の直後に「毎日の中で」って、言葉のニュアンスとして妙に矛盾している気がします。 結局どのくらいの頻度なんだ、と心の中で突っ込みを入れてしまったため、あまり浸れませんでした。
神代千早 9/10 20:32	他の人のコメントに絡み始めてコメント返しをもらっても、返されてるのわからないですね。コメント欄の仕様なので、こまめに見て回るしかないのでしょう。 halcyonさん 私は「トキ」に瞬間だけを感じました。砂時計によって切り取られる、他のことをすべて忘れるかのような瞬間です。 そういう意味で私にはおさまりよかったです。 「「今でもときどき」の直後に「毎日の中で」」は矛盾だとのことですが、「毎日の中で、この砂時計を見ているときだけは」と次の文で切り取りを限定しているので、矛盾ではないような気がします。「ときどき、毎日違うトキを過ごしている」と解釈されたのでしたら矛盾ですが、それは誤読かと思うのです。私の解釈はhalcyonさんの意図を汲んでいないでしょうか。 やまのかめさん 強調自体は作者さんの意図したことでしょうね。それをあざとく感じるかどうかは意図せぬ事態だとは思いますが。 ただ、ここは例えにせよひらがなはないかなと感じました。少なくとも読者を一瞬は立ち止まらせるだけの、雰囲気の違いは出したかったのではないかと推察しました。引っかかりを感じたなら作者さんの意図通りかもしれませんね。
Albino 9/10 21:31	綺麗な文だなあ。トキは時でも瞬間でもありかと。 …瞬間をときとは読みませんか、すみません。 配置もうまいなあ。 そうか、普通は砂時計って３分か。
halcyon 9/10 23:16	＞神代さん 　理解が出来ないとか完全な矛盾という意味ではなく、誤解を生んでしまいそうな文章、という意味でした。「ニュアンス」と言ったのはそういう理由です。言葉の矛盾ではないと強調したつもりでしたが、説明不足でした。 　「単調な毎日の中で」等といった形容があればもっと解りやすくなるのでは？　と思ったのです。

ＴＯＰへ

変☆身！

合計ポイント：9 Point
作者：石花
作者コメントを読む

部室に入ると、いつもいるはずの部長はまだいなかった。その代わりに、、？

机に、おじゃ魔女ド〇ミのペペルトポロンと、誰かに似ている人形置いてある。

をぉ、懐かしい。ねだっても買ってもらえなかったなぁ。えっと、今、部屋には誰もいないし…やっちゃう？
「ピーリカピリララ ポポリナペーペルト～、」って、あれ！？
呪文を唱えると、なぞの光が私を包み、「お着替え中」の文字が！こ、これは夢みてた変身シーン！！…あれ、ポロンは変身用の道具だったっけ？
　そう思っている間にも、服が無くなると同時に体が光のシルエットだけになり、どこからか出てきたコスチュームが着せられていく。…どっちかってゆーと、これじゃセーラー〇ーンやコレクター〇イ？まあ、とりあえず、これでかつて夢見た魔法少女に―って、ぇぇぇえええ！！！

　変身は、それだけでは、終わらなかった。変身に夢中で気がつかなかったが、さっきより周囲のものが小さく見え、・・・天井に、頭が、当たっている。まさか―

　あっという間に私の身体は天井を突き破っていた。いや、え、ちょっっ！！

「魔法少女つーちゃん、ちゃんと変身できたね！？よかったぶちょー」
　…なんか、どっかから聞き覚えのある声が。オマエの仕業か、とりあえずぶん殴るからさっさと出て来い。あと、なんだ？その変な語尾
「目の前にいるっちょ。それにマスコットに変な口調はつきものぶちょ。」
　よく見るとさっき見た人形が浮いている。声はそこから。アレが本体か。つまり、最初からバッチリ見てた、と。…正拳突きの構えをとった。
「魔法少女がマスコットを攻撃しちゃだめぶちょ。あと、つーちゃん、変身できるのは三分間だけぶちょ。」
　すげームカツク。その語尾。それに巨大で三分間だけなのはウ〇トラマンとかの設定で、魔法少女にそんなの
「じゃあ、光の巨人になりたかったぶちょか？そんなことより、怪人赤マントをさっさと倒すぶちょ！」
　―もういいです、はい。って、怪人！？
　そう言われて前を見ると、、

　私と同じ大きさの、まっぱ＋赤いマントのみの変態がいた。
「ふはははっ我こそは、怪人―
　なんかこっち見て笑ってるよ、キモイよ！助けておかーさん！
「つーちゃん、地球の平和のため、エネルギー切れの前にアイツをやっつけるぶちょ！」
　こっちの変態もなんか言ってるよおぉ。いや、押すな、押すなって！

　為す術も無くマントに組み付かれる。悲鳴を上げる間もなく、四の字固め→コブラツイスト→そしてトドメのキン肉ドライバー！…お、おみごと、、ごふっ
「大変ぶちょ。時間がないぶちょ！こうなったら必殺技、つーちゃんスクリュードライバーをつかうっちょ。」
　そんな技あるなら最初っからつかわせろや。なんでプロレス技…
『つーちゃん☆すくりゅうどらいばぁぁ（はぁと）！』
　…あっけなく倒した。なんだったんだ、というか、今回の展開はいったいなんなんだ！
「いやー、三分間に関係あるメジャーな都市伝説ってないよねー。」
　意味不なこと言ってる。
「しかし、つーちゃんのキャットファイトも見れたし、魔法少女だからぱんつはいてないしで堪能させてもらいましたなぁ。もとい、したぶちょ。赤マントを仕掛けた甲斐が―

　そ　う　か　、　や　っ　ぱ　り　オ　マ　エ　が　諸　悪　の　根　源　か
「…ハッま、まずい、ここは、必殺、

　　夢　オ　チ　！！！

「―あれ？」
　気がつくと、部室の前に立っていた。なんか悪夢を見たような。…とりあえず部室に入る。
「やあ、つーちゃん。家捜ししてたらこんなものが出てきてさぁ、」
　部長がポロンを振り回していた。思い出した。ポロンを奪ってへし折る。更に続けて―
「ポロン！なにすんのさ、つーちゃん…って、ぎゃぁぁぁ！」

『つーちゃん☆すくりゅうどらいばぁぁ（はぁと）！』

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
laket 9/3 8:52	カオスすぎておもしろかったです。確かにこれは夢オチでも使わないと収拾がつかないかもしれませんね。 部長の語尾が「ぶちょ」なのが安直すぎて笑えます。語尾ってそんなもんですよね。
バケネコ 9/3 16:41	じ、実は、『三分間魔法少女ウルトラちゃんの逆襲』というタイトルで「はうう、もう三分間たったから、胸のポッチがピコンピコンしちゃうよう！」とかそういうのをやろうかと迷ったあげく没にしたのですが……よかったあああっ！　こんなのでネタかぶりしなくて本当によかったあああああああっ！ いや、この馬鹿さ加減、とても好きです（はぁと）。
evolv 9/3 22:53	巨大なまっぱの赤マントなんてただの猥褻物です。 それにしてもネタが全部わかった自分が少し悲しい。普通の人はどうせわからないんだから、筋肉ドライバーじゃなくて地獄の断頭台にしてほしかったな。

EtOH 9/4 13:15	ネタは半分くらいしかわかりませんでした。部長、キャラいいですね。つーちゃんも何気にノリノリ。
halcyon 9/5 0:18	ネタはあんまり分からなかったですが、あまりの馬鹿さ加減に笑ってしまいました。 ラスト一行のスクリュードライバーの威力、凄そう（笑）
柚子(ゆうこ) 9/5 15:34	とても楽しく読ませていただきました。思わず声に出してしまいそう・・・
カゲヤマ 9/5 22:57	でたっ！カオスすぎて面白い作品！ とはいえちゃんとキャラ設定やら最後のオチやら完成されてますよ。うん。 バケネコさんのネタかぶりもある意味見てみたかったなあ。 じょ…冗談です（汗） そういうことなので、それで皆さんご一緒に～ 「ピーリカピリララ ポポリナペーペルト～！！」 （「つーちゃん☆すくりゅうどらいばぁぁ（はぁと）！』じゃないんかいっ！…いえ実は宍戸留美さん好きです。）
ノア 9/7 1:45	つーちゃん第２話。(第１話は"いと"の回『ピアス』) 但し、関連性は主人公名前と謎の部活だけ。 結局何の部活なんだろうか？
s.o.u.p. 9/7 12:24	太字と車体の使い方が見事です。世界観によく合ってるっていうか…。いや、ネタはまったくわからなかったんですけど。 笑いました。周りに人がいなくてよかったー。
to　洋灯 9/7 20:12	散々カオスをばら撒いといて、夢オチとかひどすぎる！(←褒め言葉) つーか、これで三度目ですかぃ。 作者を隠すつもり無いですよね、一宮市の某韓国料理店さん。
ノア 9/7 20:34	あぁ、本当だ。３つ目なのですね。気付かなかった。
BELIAL 9/9 18:37	いやー勢いがある。かなり面白かったです。
Albino 9/10 21:36	うん、これは夢オチで正解（笑） ぶちょとかスクリュードライバーとか 随所で笑わせてもらいました。 …同じくネタがほとんど分かったのでちょっと落ち込んできます。 あと、失礼ですがバケネコさんのコメントにも大爆笑。 み、見ｔ失礼しました
floccinaucinihilipilification 9/11 3:21	中々のカオスぶりですね。 あえてのつーちゃん3連発で作者隠す気0なのはある意味で敬意を表します。
halcyon 9/11 4:2	全セッションが終わった後、部活名が公表されることに期待。（笑）

ＴＯＰへ

美結さんのいる風景

合計ポイント：9 Point
作者：神代千早
作者コメントを読む

　美結さんは東京生まれの東京育ち。生まれて以来、小伝馬町。ビルが並んでいるのしか知らない僕はイメージで、あのあたりにも住んでいる人がいるんだとつぶやくと、
「無人島じゃないのよ！」
って怒られた。そもそも島じゃないけれど黙っておくのが得策か。まあ、本州の中だから島のうちかもしれないし。

　美結さんのお勤めは渋谷まで出てもう少し。小伝馬町の駅からは少しだけれど回り道。ちょっと歩いて三越前で乗車する。
　でもいつも、電車が行ったところだと、少し急げば乗れたのにって、ものすごく悔しがる。その時間、３分待てば次が来るのに。
「江戸っ子だから気が短いの！」
　怒っている間に、すぐ来るよ。田舎育ちの人から見たら、こんなに電車が来てるのに、どれも混んでてびっくり仰天。

　美結さんのお出かけは、日本橋とか銀座とか、なじみのウィンドウショッピング。僕は全然なじめないけど。
　それでも天気のいい日なら、小伝馬町から日本橋、さらに歩いて銀座まで、二人で散歩も悪くない。
「このプリンセスカット、もらえたらすてきだろうなぁ」
　もらえるのなら、すてきだろうね。あげる方もすてきかな？　ところでひとつ質問が。プリンセスカットってなんだろう。

　美結さんの誕生日、それが明日に迫ってる。でも僕は、明日は仕事で北海道。朝も出発が早いから、前日遊びに来てくれた。
　僕の下宿は篠崎町。歩いてすぐに江戸川の岸。対岸はもう千葉県のぎりぎり東京の端っこだ。特に見る物もないけれど、江戸川の河川敷を二人で歩く。
「風が気持ちいいね。たまには日比谷公園じゃないのも新鮮」
　どこでも一緒に歩けるだけで、僕はいつでも幸せさ。ひとつだけ残念なのは、楽しい時間は終わりが来ること。

　でも待って、もう少し。明日が今日になるまでは。

　美結さんを駅のホームにお見送り。終電までぎりぎりだ。またねと言うまであと少し。０時３分の終電を待つ。そして他愛のない話。
　時計の針が０時ちょうどを指したとき、僕を睨んでつぶやいた。
「ん〜、もう午前様になっちゃったじゃないのよ」

そんな彼女の目の前に、さしだす真白なひとつの小箱。プリンセスカットのあの指輪。誕生日、おめでとうと声をかける。そしてもひとつ言わなくちゃ。だいじなだいじなひとことを。

３分間のハッピーバースデー。お返しに、もらった言葉がひとつきらめく……。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 17:33	文章も読みやすく、お話としては楽しく読めたんですが…「びっくり仰天」と「午前様」は、なんかものすごく古いんじゃ。
halcyon 9/3 18:18	「対岸はもう千葉県のぎりぎり東京の端っこだ」 一瞬理解できませんでした。 読点入れたら分かりやすいかも。
浅間ぱんだ 9/4 0:20	情景を思い浮かべやすく、読みやすい文章でした。 ＃3分間の誕生日と聞いて真っ先に思い出すのは、某バーロー映画です。 ＃私、自宅最寄り駅が篠崎です。都営新宿線の終電の早さは異常。
EtOH 9/4 12:38	halcyonさんに同意です。僕もところどころ読みにくいと感じた部分があったので。 話は好きですよー。3分間のハッピーバースデーいいですね。
floccinaucinihilipilification 9/4 13:13	体言止めの多用で凄くテンポよく読めました。上で2人が言っているようなところもあるので全体を同じリズムにすると良いかもしれません。 昭和っぽい言い回しはむしろ古風な感じがして自分は好きです。
カッシーニの空隙 9/4 15:47	こういうプレゼントができる人っていいですよねー いい感じに指輪を忘れさせてのラスト。
城山 9/4 17:32	うわぁ。最後の大事なもう一言ってもしかしてプロポーズですか？！ お返しに「はい」とひとつ。きゃーっ（*/ω＼*） はっきり言ってませんけど違うかなぁ？ 違ってたら恥ずかしいな。合ってるとしたら電車のホームで？っていう疑問が浮上しますが。 プリンセスカットを髪形の一つだと思っていた僕はもらうあげるの所でちょっと詰まりました…
halcyon 9/4 21:43	びっくり仰天とか午前様は、古い分江戸っ子の間ではまだ根強いのかも…？
めんとすこーら 9/5 9:38	雰囲気いいですね。語り手が気弱で優しげなのがいい感じです。 ただ過去の風景⇒具体的な日（誕生日前日）という移行が少し飲み込みにくかったです。
柚子(ゆうこ) 9/5 16:11	『言葉がひとつきらめく』ゴメンナサイ突っ込みます。ひとつとう語が妙に気になって、一語なのか　それとも交わした言葉の一つなのか？私が美結さんならばなんていうかしら　このような状態に縁がないので考えてしまいます。一度経験してみたい、
カゲヤマ 9/6 0:47	きゃーーっっ！！ こんなプロポーズをされてみたい！！ …ええそうです。わたしは男ですけど何か？
石花 9/6 2:36	テンポいいです！ なんか言い回しが古風？ですけど、おもしろかったです。

やまのかめさん 9/6 12:26	小気味よく展開されている文章ですね。最終段落から結びの展開もとても良いと思います。ただ歯切れ良くリズムに乗った文章を目指していると思うのですけれど、どうも言葉の流れが悪く感じられてしまう場面がちらほらありました。halcyonさんやEtOHさんももう触れられていますが、読点の打ち所を工夫したりともう少し改善の余地があるのではないでしょうか。個人的には体言止めも多用しすぎのように感じられています。
me 9/6 21:43	こういうカップルいいなぁ。 「プリンセスカットってなんだろう」が途中の文にあって、そこから最後に指輪が登場するのとか、すごく好きです。 女の子的には「覚えててくれたんだぁ！」みたいな。
ノア 9/7 5:45	「このプリンセスカット、もらえたらすてきだろうなぁ」 このセリフになんだか裏を感じてしまう。
太祖武帝 9/7 12:31	さらっとした文章で最後でうまくまとめた感じでなかなかいいと思います。ただ、東京はあまり詳しくないので、小伝馬町だとかいわれてもさっぱりわからなかったのが残念です。
春 9/7 14:35	素敵なお話です。主人公が控えめだけどちゃんと存在感を持っており、美結さんがちゃんとキャラが立っていました。 全体的にリズムも非常にいいし、素晴らしい作品だと思います。
s.o.u.p. 9/7 22:25	読みやすかったんですが、何か恥ずかしかったです。 もう少し漢字があった方が男らしい文章だったかなと。

ＴＯＰへ

その３分間、青春の証

合計ポイント：9 Point
作者：ザ サン・オブ・オージー
作者コメントを読む

　　トクン・・・

鼓動が先ほどから高鳴っているのを感じる。しょうがない、これで最後だからな。

小学校まであまりスポーツをしなかった自分が、中学になって始めた水泳。内気だった自分を変えるためだ。初めは２５m泳ぎきるのがやっとだったってのに、自分がこれから泳ぐ種目は２００mの平泳ぎ。

よく、やってこれた。我ながら思う。

　　トクン・・・　トクン・・・

出番は近い。すでにプールサイドにいる。熱気とも冷気とも感じられる雰囲気が緊張感を否応無しに高める。

高校でも、続けてよかった。自分の高校が進学校のせいか、高校で運動部に入る人はあまりいなかった。部員も少ない。それでも高３までやってこれたのは間違いない、部活の仲間たちが優しかったからだ。

みんな、ありがとう。

　　トクン・・・　トクン・・・　トクン・・・

一歩、また一歩、出番が近づく。次が僕の出番だ。

目標は３分。高１の時からの目標である。自己ベストは３分００秒９２。去年の夏の記録である。この１秒を埋めるために高３になっても練習を続けた。でも、この１秒が埋まらない。

３分という壁が、高い。

　　ドクッ・・・　ドクッ・・・

歩く足がこわばる。とうとうコースのまん前に来た。今泳いでる人が泳ぎ終わると、次は自分である。・・・名前が呼ばれた。

プールの向こう側に、一緒にやってきた仲間が見えた。応援してくれている。

　　ドクッ・・・　ドクッ・・・　ドクッ・・・

・・・みんなが見ている！

前日計画を立てたペース配分を思い出そうとする。２００ｍは想像以上に長い。しっかりペース配分を考えないとスタミナ切れで失敗するからだ。でも・・・

頭の中では、「精一杯」の連呼が続く。

前の組の人たちが泳ぎ終わってプールから上がってくる。いよいよ、だ。

　　ドクン・・・ドクン・・・ドクン・・・

力が入らない。足を叩く。・・・さあ。

笛が鳴り響く。飛び込み台の上に立つ。足元が若干ふらつく。・・・落ち着くんだ。

　　ドクンドクンドクンドクン・・・

視界にはこれから自分が泳ぐコース、それと向かい側の仲間。それ以外入らない。

「よーーーい・・・」　ドクンドクンドクンドクン・・・

・・・合図の銃声が聞こえた！

大学生になり熱い夏が来た。引退以来泳いでない。そしてあの大会からちょうど１年。

　・・・なつかしいな。

わずか０．０３秒。会心の泳ぎもわずかに及ばなかった。３分の壁は崩せず終わった。
でも、あの３分間は忘れない。いまでも身体の中にはあの３分間の熱が残っているようだ。

久しぶりに・・・泳ぐとするか。火照る体を冷やすのには丁度いいだろう。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
バケネコ 9/3 17:17	ああ、青春ですねー。三分間というお題を、かなり自然に取り込めている点が、とてもすごいと思います。

halcyon 9/3 17:57	「３分という壁が、高い。」 多分、今回投稿した人は皆これ感じたんじゃないですかね。 シンプルかつ正統派ですね。
evolv 9/5 0:1	こんなスポーツ物のさわやか三分を待っていました！！
EtOH 9/5 8:30	途中入る心臓の音で、こっちまで緊張してきちゃいましたよ。３分間の使い方が美しいです、無理がなくて。 青春ですねー！！
柚子(ゆうこ) 9/5 15:50	これは作者さんの実体験なのかしら　と思ってしまうほどの説得力のアル読み物でした。
カゲヤマ 9/6 0:31	青春ものはうつくしくていいですねえ。 主人公さん！大学生も十分青春のうちですよ！頑張ってください！ ちなみに自分の記録は2分57秒58でした！まわりにあまり泳ぐ人がいなかったので早いのかどうかはわかりませんが・・
me 9/6 20:16	爽やかで、素敵です！ 「三分間」って、こういう使い方もできるんですね。
s.o.u.p. 9/7 1:33	寸でのところで！ ときましたか。オーソドックスなまとめ方だと思います。 大会当日の気持ちと雰囲気を描くことで臨場感を出そうとするのがありきたりだと思ってしまいました。「あの3分間の熱」をもっと強烈に残すには、自分が大会の前までにどんな思いでやってきたのか、何をしてきたのかを描くと良いのではないでしょうか。 偉そうなことばかりすみません。
ノア 9/7 4:2	よくあるスポーツものだけど、 自分もこういうの書こうとして断念したからすごいと思いますー。
太祖武帝 9/7 12:25	さわやかなスポーツもので読みやすかったです！私の好みの問題なのですが、心臓の鼓動の「ドクン」の部分は、「心臓の鼓動が聞こえてくる」といったたぐいの方が好きなんですけどね…。 全体として純粋な青春の感じが伝わってきてよかったです。
no price 9/7 23:48	学生時代の描写が、かなりリアルで迫力がありました。 ラストの一文も綺麗にまとめられていたと思います。
石花 9/9 2:52	なにか、熱いものがこみ上げてきました。ただ、水泳をやってないのでイマイチ三分の凄さ？が解らなくて残念です。
ひま人 9/11 1:20	実体験ですか？かなり上手くかけていると思うし、リアリティーありますね。わずか０．０３秒ながら、悔いが残ってない感じがいいですね。

ＴＯＰへ

３分間

マホウに全部持って行かれましたね、３分間。
首位は予想したものの、これほどに強いとは。漂流もなかば、島外で活動する島民さんも増えて投票者の減る時期に島最多の58ポイントでの金メダルはスゴイのひとこと、こんぐらっちゅれいしょんず!!

さて、まじょコメントです。
狭めのお題かなと思ったのですが、どうしてどうしてけっこう多岐にわたって「３分間」をころがしていただきました。

こんな目次で行きましょう

三種の神器
３分間考察
スポーツ・電車・夢
その他

カップラーメン・砂時計・ウルトラマン。これが「３分間」と聞いて、島民のみなさまがぱっと思いついた三種の神器だった模様です。なんとこれだけで15/41も占めました。

カップラーメン
まずは、お湯さらさらのカップラーメン。ニッポンの大発明。お手軽さで大繁盛、７杯ものご注文をいただきました。
せっかくの人気アイテムですから、威儀を正して、ものものしく入りましょうか。

ブラックジャックも食べている
患部だ癒着だ熱水だ、と漢語の語感を活かして、じつにうまく手術室気分を演出していただきました。
タイトルもいいですねぇ。かっこよく退場したあと、楽屋裏でずるずるすすってるみたいで。
evolvさん、ネタ師の本領発揮で銀メダルです、おめでとう！

もひとつラボ気分。

ラボの中では
こちらも「フタ」だ「沸騰」だ「器」だと、ダブルミーニング攻めでした。
飄々、といった味の教授が引き際のお手本のようで好印象。

え？　喫茶店で？

レイニーアフターヌーン
雨上がり、儚く消えたカップ麺の誓い。
カルピスは初恋の味、カップ麺は失恋の味。ラストシーン、麺をくわえた僕のクローズアップが独身男性の共感を呼べそうで、CMに使ってもおもしろそう。
そんな映像的な仕上がりでした。

　そう、漫画喫茶で。

家を飛び出した
　一炊の夢、ならぬ、カップラーメン一杯の夢。その間に一生が見えちゃう。
　「ポストには日清の内定」で笑わせに来たのかなと思いきや、まじめな人生トーク。狙いは悪くないと思うのですが、「地元」がどこか、など、この人生にもう少し具体性が備わっていると、もっと語りに迫真性が出たのでは。

　やっぱり、おうちでノーマル・スタイルがいちばん。計３杯。

３分あったら何をする？
　ああ、やっとふつうのシーンだ！
　おいしくなーれの小さな魔法のあたたかさ、子育てママさんならではの、ほんわりテイストですけれど、ラーメンのなかみのおいしさも具体的に感じさせたかったところ。

　３分あったら魔法だけじゃなく考察まで、できちゃう。

カップラーメンから遠く離れて
　ブラックボックス的なものへのあこがれという支えだけで展開する考察の説得性の薄さは、いつもながら、この作者さんの真意が「説得」にあるのか「揶揄」にあるのか判断しかねるところですが、それは措くとして。
　構成の上でややちぐはぐな印象を受けたのは、考察は自分自身の基本スタンスを語るという現在形なのに、タイトルと結びの言葉「カップラーメンの日々よ、永遠に。」が回顧型つまり過去形であるという点でした。

　川柳も詠めちゃう。

かたいよぅ。。。ぼそぼそするよぅ。。。うわぁぁん(TдT)
　「待ちきれないの。」上目づかいの少女視線を感じてしまいました。みごとに、３分間という先入観を逆手に取りましたね。あざやか。
　「大丈夫　食べるあいだに　五分経つ」、石花さんの返歌もおみごとでした。ぱちぱちぱち。

砂時計

　お湯さらさらの次は、砂さらさらの砂時計。計４個。人生をこめたストーリーモノが目立ちました。それも、まっすぐな純愛の。島民さんの支持をたくさんあつめた作品が多かったのも、ここの特徴です。

３年間のマホウ
　うぅ。構成の緻密さに、うなりました。
　うるうる。純愛の純度の高さに、涙ぐみました。
　おしあわせに。願わずにはいられません。
　ブラボー!!

そんなひととき
　ティータイムの何気ない風景のように見えて、じつは、ひとつの悲しみを超えてゆくトキ。大げさな悲劇語りがない分、彼の不在のやるせなさが、いっそう心にしみます。
　「こつん」は自分に区切りをつける「こつん」なのでしょうね、読後も心に、こつんと残りました。

　軽いリズムで。

下克上
　砂のひとつぶひとつぶに人格を宿らせた観察のこまやかさが、一幅の絵となっていました。歴史物かとクリックしてみれば、というタイトルと内容のミスマッチもおもしろさになっていました。

　おしまいは、世界を変える砂時計。ちょっとデカいです。枕大。

やり直し、くり返し
　それくらいの未来予測は開発前にしとこうよ、木戸さんや、というツッコミは野暮なので措いといて。
　ラストは、さあ、あなたが木戸ならどうする？　枕、もとい砂時計ごと焼く？　という問いかけでしょうか。

ウルトラマン
　お湯さらさらのカップ麺、砂さらさらの砂時計に続いて、タイマーぴこぴこのウルトラマンが通りますよー。
　三種の神器のラストは、しゅわっちが４体も参上してくれました。これで無敵だぃ。

ウルトラマンと僕
　これはまだ話の入り口。「大人になった」でまとめてしまうのでは、つまらない。ウルトラマンは正しいのか、ひどいのか、蘊蓄を交えつつ、つきつめてほしかった。

スリーミニッツ・ラプソディ
　視点チェンジ。善悪をくるりとひっくり返してみると。
　わかりにく！　３分間をお題としてなければ「銀色の山」がウルトラマンとすら気づいてもらえないのでは。ていねいなコメント陣に助けられましたね。
　誰のための戦い？という問いかけを持ち込んだ意図は深くて良かったと思うのですが、未消化に終わった感。

やはりそうだったのですね
　こちらは恋い慕う副官の視点から描き上げたウルトラマン。
　うん、これはしっとりと完成度高かった。視点が変わることで、子供向けの痛快ヒーロー視点から、一挙におとなロマンへ。いや、あの無表情な銀色能面がラブシーンを演じるのかと思うと、何だか愉快でなりません。

インタビュー
　「地球を救うのに使う時間です」――たった一行なのに、いや、たった一行だからこそ、この存在感。電話もカップラーメンも、あわれ前座扱いに。
　そんなオチのみごとさが光ります。ピコピコ。

　さて、三種の神器の賑やかなお囃子をくぐりつつ、ここらで「３分間」って、どんな長さか、理詰めで考察してみましょうか。９作品です。

3分間の密度
　「3分で270文字、70バイト」――密度で来ました、文君理君のコント。
　軽快に読めるのですが、
　　＞文君は重い口を開きました。
　　＞「やっぱ、お前の言ってる事の方が正しいよ」
　ここが分からなかったです。音楽派に転じたのは理君のほうなのでは？

３分間で出来ること
　文字数攻撃その２。180文字でございます。
　うん、こうすれば日記継続のモティベーションが沸きそう。
　隠された仕掛けが楽しかったです。

Life is short, and art is long.
　日記は書かないけれど、一日の終わりの自省の時間として使うに好適です、と。
　あるある、とフロアの共感を誘ってのコメント展開でした。カゲヤマさんの自殺会がスゴいなあ。
　「死んでやる」が、ある気概を感じさせて、いいピリオドなのですが、タイトルに掲げたアートはどこへ？
　伏線は回収してほしかった。

3分間のお値段
　金額にしてみると。
　ふうん、ストーリーを脳内補完して読むものなのか、とナットク。
　注をきちんと入れた折り目正しさが光ります。

３分間で話
　同じ注でも、こちらはネタ尽くし。
　いやもうムリヤリな論理展開と、にもかかわらず異論も認めちゃう包容力とのアンバランスがすてきでした。
　それにしても、みんな素数数えるの好きなんだなあ。でも、素数じゃない４位でしたよ、めでたい？　よね。

何が観られるか？
　隠れ人気のバルスをもう一つ。
　マジメ考察と笑かしの、どっちつかずだった感。「カップラーメン（一部）」なんて小ワザも仕込んではあるのですが、映画のクライマックスは3分だ！には反例がたくさん挙がりそうですし。

通話時間
　お金換算モノをもう１つ。かわいいと人気沸騰のお父さん登場です。ずしりとひとこと。
　「・・・公衆電話は１０円で３分間しゃべることができる。この意味が分かるか？」
父への娘の思い、受けとれはするのですが、ほのぼのと読んでほしいなら、あと少しだけ娘の言葉づかいに配慮を。
　「お疲れ様、という言葉をかけてやりたい」→「お疲れ様、という言葉をかけてあげたい」
　「彼氏に嫉妬するのはやめてくれ。変な言いがかりもやめてくれ。」→「やめてくれ」の連呼は娘の言葉としてはキツい印象です。「え？　ひょっとして嫉妬、だいじょうぶだよお父さん……」というようなソフトでソフトバンクな展開はいかがでしょう。

３８５４４００回目の３分間
　数えたぞー、というタイトルがインパクト大。
　本文の例示のほうは、もう少し笑い要素も入れたほうが、列挙が活きたかなと思います。マジメに数えたコメントのカゲヤマさんもエライ！

弟とセミ
　セミの３分は人間に換算すると９日分なんだよ。
　ちょっと威張りつつも、この世の真理を何とか弟に伝えようという兄の気持ちが正直に語られて、兄の感じた背筋が伸びる思いを読者も共有できます。

　考察済んで、ストーリー物中心の世界に戻りましょう。
　問：人は、どういう場面で「３分間」を強く意識するのでしょうか？
　答：「スポーツ」と「電車」、そして「夢」。

スポーツ

その３分間、青春の証
　まず、泳ぎます。爽やか！　の大合唱でしたね。スポーツものの特権。
　心臓の音の表現がいい。目標にわずか届かなかった無念さが過去のものになってるのもいい。王道ですね。
　タイトルが結論じみているところが、やや興醒め。もっと爽やかにならなかったでしょうか。

threw away
　お次は剣道です。あれ？　爽やかじゃないぞ。あ、そうか、やめた潔さが爽やかなのか、という展開でした。
　スポーツなのにチキンな理由、その肝腎部分が読者にとっては不明瞭なままなので、インパクト不足で終わってしまいました。

弟よ
　スポーツもののラストは柔道です。ええ、ええ、もちろん王道の爽やかさです。
　爽やかじゃなく脳内補完したとしたら、それは読み手さんの心が爽やかじゃないからです。
　そんな、あなたの爽やか度チェックします作品でした。やるなあ。
　爽やかな（←しつこいぞ）薔薇の香りに包まれての５位、おめでとう！

電車

美結さんのいる風景
　まずは、ほのぼのと。
　下町っ娘の美結さん（←読めない、みゆ？）、キャラクターはしっかり立ってるし、ストーリーはきれいだし、わーきゃー恥ずかしいっのプロポーズのお話。読みながら照れますね。
　地の文＝僕のセリフがリズミカルに続く中に、そのリズムを遮るように美結さんのセリフがぽこりぽこりと配されているという文体使い分けのワザがうまく効いて、美結さんを盛り立てているなと読みました。
　で、お若いかたがた、これは実話（たぶん）なので、東工大生のアカルイミライのための御参考にどうぞ。成功率は保証しませんけれど。

歪んだ三年間の表出たる三分間が提示する或いは幸福な結末
　うっわー、濃い。油絵みたいな表現の塗り重ね。
　その濃さが双子同士の実らぬ恋という絶望感をずしりと伝えてくれました。読後感、悪ッ！(←褒めてる）

神の慈悲深さに関するある男の私見
　コメントでも推測されてましたけど、「こう、ぶすっと。」で刺したんじゃないかな、と読みました。人身事故で死んだはずの人間が、身代わり求めてふらふら出現、と。
　作者さんのなかでは、くっきりストーリーが作られているのでしょうけれど、それをひとり語りでしっかり見せるのは、なかなかむずかしいですね。
　トークの迫力がまざまざと感じられただけに、得心しきれない部分が残ってしまったのが残念です。

夢のような３分間

贋作・第一夜
　長い長い３分間。今、自分の書いているものは、あるいは自分の考えていることは、すべてコピーに過ぎないのではないか、という恐怖。
　オリジナル信仰の強すぎる近代人の不幸のカタチですね。文体だけでなく、テーマそのものもまさに漱石的、けっこうなお点前でした。

変☆身！
　まさに「意味不」。だから夢オチ。
　ネタにまみれて楽しんだかたが多かったようで幸い。

その三分間で彼女の中の『私』は死んだ
　『おかあさん』。そのひとことで魔法が解ける。言わずに過ごした長い辛い時間と、言ってしまってからの甘やかな３分間と、さてどちらが「まつり」の人生にとって価値は大きかったのでしょうか。
　それにしてもこの分かりにくさ、いくら何でも、どうにかしたい。

ゆめをみるひと
　ファンタジックに展開して、やっぱり夢オチだ～と思いきや、さらに「本を閉じた」とダブルパンチのラストで目が覚めました。
　コメント欄でも議論のあったラスト２行、無理にお題へつなげてリクツっぽくなってしまったか。もっと、ふわっと終わりたかった。

その他
　どのジャンルにも収まらなかったユニークさんたち７作品。

まずはホラー。

６時６６分
次元のはざまからＳＯＳ。そう、電話がつながった時点で、あなたももう・・・
友だち会話の切迫感が、しっかり怖さを伝えてくれました。どんどん犠牲者が増えるのか、それとも、身代わりが出現すれば戻れるのでしょうか？
その先の見えなさも怖さを増幅して銅メダルです、祝！

選択肢
あめだまばくはつ事件。んー、これもホラーなのか？
くすくす笑いのシーンなど、なかなかに臨場感ゆたかなのですが、でも読者はどうしても意味を求めたくなるもので、そこに答えないと作品としては浮遊中の感。

クッキングは制限時間内に
出ましたあ、スプラッタ。「ちょっと嫌なお肉」あたりで先は読めますね。
だから、改行を重ねて、こんなに長々と引っ張るラストではないような。たんたんたんと加速したあとは、「こんな気持ち悪いもの。」で、すとんと終わらせて良かったのでは。

じっくり味わう３分間。

「二色」
ぽかりと開いた待ち時間。３分間でこんなに見えるかしらん、とお題とのリンクがやや苦しい感だけれど、その制約をはずして単体として鑑賞するなら、なかなかに味わい深い「音付き風景画」の世界が広がります。
ラスト１行、「神様」とか「幸せ」とか安っぽい(神様ごめん！）言葉でまとめてしまわないほうが、この日常のいとおしさの余韻が残せたのでは。

素直の薬
こちらの３分間も、こまごました描写のせいで、長く感じます。
すくり、適当に名付けたようでいて、なかなかイケてるネーミング。お薬係としてしか登場しないのが残念。
誰のセリフか分かりにくいのは、すくり視点→直美視点→すくり視点と、ころころ変わるせいもあるのでは。
でも、これって「ツンデレ」でいいのん？　ツンデレの普及にともなって定義も拡張中なのかな。多彩な恋模様が「ツンデレ」のレッテルひとつで単色になりすぎてる気もして、その方面の造詣がとてもとても深そうな作者さんに伺ってみたいところです。
何はともあれ、ついにポイント入りましたね、「素直」な作者コメントをどうぞっ。

あと２つ。勢いで駆けぬけましょう。

17:58-18:01
わはは、予想通りフラれちゃった。コミカルでリズミカル。
めやちゃん、に爆笑です。

OverDrive！！
遅刻だわっしょい。
スピード感、天下一品でしたね。靴下とか描写が細かくて、共感も誘いやすいシチュエーションでナイスナイス♪

こうやって３分間は過ぎていったのでありました。